

所報むろと

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立室戸青少年自然の家

— National MUROTO Youth Outdoor Learning Center —

第35号

—令和3年度事業報告等—



巻頭言

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立室戸青少年自然の家所長
大 向 満

令和3年度に実施した事業等の報告を冊子にまとめました。是非とも御高覧いただき、御意見や御助言を賜りましたら幸甚です。

当施設は、地域の過疎化、少子化、学校行事の過密化による集団宿泊訓練の減少などで、利用者数が減少、稼働率が低迷し、施設を取り巻く環境は厳しい状況にあります。また、令和3年度事業の実施においても、約2年にわたる新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、やむなく事業を中止せざるを得なくなりました。また、開催した事業においても、開催日程の縮小、募集人数の削減等、参加者が安心して事業に参加できるよう、新しい生活様式に沿った形での開催となり、参加者の皆さんにはたいへんご不便をおかけすることとなりましたこと、どうかご理解をいただきたいと思えます。

しかしながら、コロナ禍にあっても、募集定員を大きく上回るご応募をいただくなど、子供たちが自然体験の機会を求めていることを知り、誰一人取り残すことのないよう体験機会の提供に努めることが必要であると強く感じるところです。

令和4年度も、地域の財産である室戸ジオパークを舞台とした活動や、近年需要が高まっている防災プログラムやイングリッシュキャンプなど、室戸の特色を生かし、既に人気定着している海の活動以外にも施設の特色を打ち出していき、利用者の確保、増大につなげていきたいと考えています。

最後に、コロナ禍で多くの制限がかかる中、令和3年度の事業等の実施にあたっては、研修指導員やボランティアリーダーの皆様から多くの支えをいただきましたこと、心よりお礼を申し上げます。

これからも、皆様の一層の御支援と御協力をいただきますようお願いいたします。

令和4年3月

目 次

令和3年度事業報告

教育事業

●01 ボランティア養成講座	1
●02 サイエンスキャンプ～星空編～	4
●03 オリエンテーション合宿 in 室戸	7
●04 むろと元気塾	10
●05 夏だ！海だ！室戸だ！エンジョイキャンプ	13
●06 自然体験活動指導者養成研修（NEALコーディネーター）	18
●07 イングリッシュキャンプ	20
●08 絵本 de SDGs	23
●09M キャンプ（ソロキャンプにチャレンジ！）	24
●10M キャンプ（水族館に泊まろう）	27
●11 お正月を遊びつくせ！書き初めキャンプ	29

研修支援

●12 夏のファミリープログラム	32
------------------	----

むろと黒潮・体験の風をおこそう運動推進事業

●13 防災キャンプ in 室戸	34
●14 室戸においでよ！家族 day!!	38
●15 ジオパークの生き物ウォッチング	40
●16 「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊	43
●17 くろしおいっしょにあそぼう通信	44

管理運営報告	46
--------	----

広報活動	48
------	----

利用実績	49
------	----

ボランティア養成講座

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

子供たちの体験活動に関わる上で必要とされる野外活動のスキルや安全管理、体験活動の意義や青少年教育施設の取組の実際について、実習や講義を通して学ぶことにより、ボランティアとして子供たちとともに活動し、自然体験活動の楽しさや喜びを伝えることができる青年の育成を図る。

○ 実施期間

第1回 令和3年5月 8日（土）～令和3年5月 9日（日） 1泊2日

第2回 令和3年5月22日（土）～令和3年5月23日（日） 1泊2日

○ 対象者・参加者数

当施設の法人ボランティアとして活動する意思のある者、小学校等が実施する自然体験活動を支援する意思のある高校生以上の者。（第1回 41人、第2回 33人）

○ 活動プログラム

第1回	5月8日（土）		5月9日（日）
12:15	開講式・ガイダンス（0.5h）	07:15	朝のつどい（講座の一環として特別実施）
13:00	ボランティア活動の技術①（1.0h）	07:30	朝食
14:00	安全管理①（2.0h）	08:00	ボランティア活動の技術②（2.0h）
16:15	青少年教育（1.5h）	10:00	安全管理②（1.0h）
18:00	夕食	11:10	ボランティア活動の技術③（1.0h）
19:00	青少年教育におけるボランティア活動（2.0h）	12:10	昼食
21:00	入浴・就寝準備	12:45	青少年施設の現状と運営（1.0h）
22:00	消灯	14:00	ボランティア活動の意義（1.5h）
		15:30	閉講式

第2回	5月22日（土）		5月23日（日）
09:00	送迎バス 発 開講式・ガイダンス（0.5h）	07:15	朝のつどい（講座の一環として特別実施）
09:30	ボランティア活動の意義（1.5h）	07:30	朝食
11:30	自然の家 着	09:00	青少年施設の現状と運営（1.0h）
12:00	昼食	10:10	安全管理①（2.0h）
13:00	ボランティア活動の技術（4.0h）	12:10	昼食
17:30	タベのつどい	13:00	安全管理②（1.0h）
17:45	夕食	14:15	送迎バス 発
18:30	青少年教育におけるボランティア活動（2.0h）	14:20	青少年教育（1.5h）
21:00	入浴・就寝準備	15:45	閉講式
22:00	消灯	16:00	送迎バス 着

○ 講師

瀬沼 健 氏 : 青少年教育 (第1回)

(高知県キャンプ協会 会長)

濱口 和浩 氏 : ボランティア活動の技術 (第1回)

(高知県立幡多青少年の家 社会教育主事)

田辺 秀 氏 : 青少年教育施設におけるボランティア活動 (第1、2回)

(WILD BLUE 代表)

室戸市消防本部室戸消防署 署員 : 安全管理 (第1、2回)

国立室戸青少年自然の家職員

2. 活動の様子

第1回 (5/8, 5/9)



ボランティア活動の技術 (濱口氏)



青少年教育 (瀬沼氏)



青少年教育施設におけるボランティア活動 (田辺氏)



安全管理



青少年教育施設の現状と運営



閉講式

第2回 (5/22, 5/23)



青少年教育施設におけるボランティア活動 (田辺氏)



青少年施設の現状と運営



ボランティア活動の技術

法人ボランティア養成カリキュラムに則り、ボランティア育成ビジョンによる位置付けに基づいて講座内容をアレンジした。施設としてボランティアに伝えるべき内容の整理や、講義の流れがスムーズに進めることができた。これまで本事業では高知県内青少年教育施設職員にオブザーバーやゲストスピーカーとして参画していただいたが、本年度は初めて県立幡多青少年の家濱口氏に「ボランティア活動の技術」を担当していただいた。また、高知県キャンプ協会の瀬沼健氏に加え、WILD BLUE代表の田辺秀氏に講師をお願いし、実技面での履修の広がりを持つことができた。

3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・体験学習の時間が多く取り入れられており、楽しく学ぶことができました。
- ・これからボランティアとして活動していく上での注意点をしっかり学ぶことができてよかった。
- ・分かりやすかった。自ら考える機会も多く学べた。
- ・実際に活動を体験することで、どのようなタイミングでどのように子供たちに伝えたらよいかをその場その場で教えてくださるので、とても分かりやすかったです。

○ 事業の成果

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため県外講師の招聘が難しい中、高知県内在住の講師を発掘、活用することができ、今後の指導者養成事業を勢力的に展開する見通しを持つことができた。
- ・第2回目の養成講座では高知市内からの参加者送迎バス乗車中の時間を有効に活用して講座を実施した。初めての試みであったが、参加者からの反応も好評であった。

○ 事業の課題

- ・当施設の法人ボランティアの主戦力が高知県内の大学生であるため、各大学が定める課外活動ガイドラインに沿った事業運営に苦心することとなったが、昨年度のように10月以降の新規ボランティア養成とならず、年度当初から計画的に実施できたことは大変喜ばしいことである。例年と比べても講座参加者、新規登録者の数が伸び悩んだが、現況を鑑みると満足できる数値といえる。各大学との良好な関係を今後も継続することで講座の開催とボランティア活動の場の創出に努めていきたい。

サイエンスキャンプ～星空編～



1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

自然科学に興味を持たせ、知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力及び主体的に学習に取り組む態度を育成する。

○ 実施期間

令和3年7月17日（土）～18日（日） 1泊2日

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

小学5年生から6年生までの児童 22名／20名

○ 活動プログラム

	1日目		2日目
12:40	奈半利駅発（マイクロバス2台）	7:30	起床
14:30	はりまや橋観光バスターミナル着	8:30	朝食
14:40	はりまや橋観光バスターミナル発	9:30	「プラネタリウムキット作り」
15:00	高知みらい科学館	12:00	昼食
	「宇宙地域科学体験ゾーン見学」	12:45	ふりかえり・アンケート
16:00	「星座早見表作り」		おわりのつどい
17:10	「プラネタリウム観覧」	13:00	自然の家バス発（2号車）
18:00	高知みらい科学館発	15:30	はりまや橋観光バスターミナル着
19:00	芸西天文学習館着 夕食（弁当）		
19:30	「星空観察」		
21:15	芸西天文学習館発		
22:30	自然の家着		
	入浴・就寝準備（ロッジ）		
	消灯・就寝		

2. 活動の様子

<1日目>

高知みらい科学館での開会式では、宇宙や星のことを学びながら自分たちが住んでいる地球のことについても考える機会になればいいですねと所長からの挨拶があった。

その後「宇宙地球科学体験ゾーン」にて、子供たちは様々な物理法則に基づいた実験装置を体験し、サイエンスショーでは講師による光ファイバーの仕組みについて具体的に実験しながらの説明を聞いた。また、各自が星座早見表を作ることで、季節や時間ごとの星座の位置や形状を確認するとともに近日中に見られる流星群や星占いに使われる星座の話を聞かせていただくなど、子供たちの関心を引き立てるものであった。プラネタリウムでは、この時期に見られる星座や惑星の位置を

確認したり、銀河や星雲に関する知識を深めたりと、講師の詳しい説明を熱心に聞き入っていた。

高知県立芸西天文学習館では、宇宙に関してゆかりの深いアマチュア天文家関勉氏が新たな彗星を発見した時のエピソードや、望遠鏡に関する発明から現在までの発展についての説明、また惑星間の距離について縮尺を使って学習室内で再現するなど、子供たちが実感しやすく理解しやすい内容で進められた。最後に、曇天のため実際に星の観測を行うことはできなかったが、天文学習館内にある巨大望遠鏡が、実際に観測するとき移動する様子を見せていただき、望遠鏡の素早い動きや開閉するドームの屋根に子供たちは歓声を上げていた。

その後、自然の家までバスで移動し、検温、入所オリエンテーション、入浴等すませ、ようやく遅い就寝を迎えた。



< 2日目 >

サイエンスキャンプ2日目の朝は、前日の就寝が遅かったため7時半の起床になったが、子供たちはシーツの片付けや掃除など、昨日に続き素早く確実にできていて素晴らしかった。同部屋の友達たちとも助け合っていた姿が見られた。

朝食をとったあと、本日のメインである「プラネタリウムキット作り」を体験した。初めは、台紙に印刷してある星座の小さな点（星）を、一つ一つ画びょうでプチプチと穴をあけた。地道で大変な作業だったが、一人ひとり根気強くできていた。

次にキットをテープやボンドを使いながら組み立てていった。説明をよく聞いていないと間違ってしまうのだが、子供たちは集中し何とか完成までこぎつけた。「家に帰って、早く見てみたい！」という声が多かった。

複雑で細かい作業が続き、完成まで3時間以上を要したが、子供たちは最後まで自分の力で仕上げたことに達成感を味わっていた。

2日間を通して、参加した子供たちの星や宇宙に関する知識の多さに驚かされた。また、本事業に参加した子供たちのほとんどが違う小学校からの参加であるにもかかわらず、互いに協力しながら活動できていたことは本事業のもう一つの達成された成果でもあると考える。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・いろいろなプログラムがあって楽しかった。
- ・友だちとコミュニケーションがとれた。
- ・星の勉強ができた。今度は月とか太陽をくわしく知りたい。
- ・学校で配られたチラシを見て初めて参加したけど、また友だちと交流しながら泊まったりしたいです。
- ・今回は天気が悪く、星は見れなかったけど今度は見たい。
- ・今度サイエンスキャンプがあったら・・地球から何光年離れているかを測れる模型を作ってみたい。微生物の学習をしてみたい。星空の下でテントをはって星を見たい。

○ 事業の成果

- ・残念ながら曇天で実際に星の観察を行うことはできなかったが、事後の子供たちのアンケートでは、満足21人、やや満足1人で満足度は95.5%であった。連携機関である高知みらい科学館や高知県文教協会（芸西天文学習館での講師の手配）の協力のおかげであると考える。
- ・高知みらい科学館の前田雄亮氏や芸西天文学習館講師の吉岡氏、松木氏から星座や星、望遠鏡などに関する話を楽しくかつ分かりやすくお話しいただいたことで、自然科学（星や宇宙）に興味を持たせ、知識・技能の習得を図ることができた。
- ・子供たちの感想からもわかるように、友だちとともに活動したり協力したりすることの楽しさや素晴らしさを感じることができた。また、子供たちは時間がたつごとに積極的になり、主体的に学習に取り組む態度を育成することができた。

○ 事業の課題

- ・今年度は「自然科学」～星空編～というテーマで事業を行い、子供たちの満足度も95.5%ではあったが、室戸らしさ（特色）が薄かったように思う。来年度は「自然科学」という大きなテーマは変えないが、室戸の特色をもっと活かしたプログラムになるように内容を精選・検討したい。

令和3年度全国高校生体験活動顕彰制度

「地域探求プログラム」オリエンテーション合宿 in 室戸



1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

宿泊を伴うオリエンテーション合宿を通して、ものごとを探求する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを養う。

○ 実施期間

令和3年7月27日（火）～29日（木） 2泊3日

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

高知県在住の高校生 9名／10名

○ 活動プログラム

27(火)			28(水)			29(木)				
			7:15	～		朝の集い	7:15	～		朝の集い
			7:30	～		朝食	7:30	～		朝食
9:00	～	9:50	9:30	～	9:50	フィールドワーク②	9:00	～	9:50	発表準備
		9:30 安芸駅				①佐喜浜の自主防災組織に学ぼう				
10:00	～	10:50	10:40	～	10:50	連携:市役所防災対策課(山中・竹本) 佐喜浜自主防災会 区長・副区長・植村さん(市役所OB)	10:00	～	10:50	発表・まとめ
		10:40 室戸高校				移動:所バス				
11:15	～	11:50	11:00	～	11:50		11:00	～	11:50	探究活動について 退所準備
		ガイダンス・オリエンテーション 研修室1								
12:00	～	12:50	12:00	～	12:50	昼食(弁当)場所:海浜センター	12:00	～	12:50	昼食:食堂
13:00	～	13:50	13:00	～	13:50	フィールドワーク③				
		自然の家出発 フィールドワーク①				①室戸市の防災倉庫見学・解説 ②避難タワー見学・解説 ③避難路 ④救命艇				
14:00	～	14:50	14:00	～	14:50					
		1. 室戸岬ガイド 2. ジオパークセンター見学・解説 3. 津波避難シェルター見学								
15:00	～	15:50	15:00	～	15:50	連携:市役所防災対策課(山中・竹本)				
		連携 室戸ユネスコ世界ジオパーク 移動:所バス				移動:所バス				
16:00	～	16:50	16:00	～	16:50					
17:00	～	17:50	17:00	～	17:50	ゆうべの集い・夕食・休憩				
		ゆうべの集い・夕食・休憩								
18:00	～	18:50	18:00	～	18:50					
19:00	～	19:50	19:00	～	19:50	演習 まとめ 発表準備 場所:研修室1				
		講義「室戸市の防災対策の現状と課題について」 講師:市役所防災対策課 山中・畑中 場所:研修室1								
20:00	～	20:50	20:00	～	20:50					
		演習 避難生活のシミュレーションをしよう 場所:研修室1								

2. 活動の様子

< 1日目 >

個人参加型で高知県内すべての高校に募集をかけ、東は室戸市から西は四万十市まで、高知県内の4校から、1～3年生男女9名の参加で開催した。ガイダンスでは、所長より「探求のプロセス」

を学ぶことによって、新たな社会の担い手として自身の可能性を伸ばしてほしいと挨拶があった。

昼食後、室戸市観光ジオパーク推進課の協力のもと、室戸岬の現地見学、ジオパークセンターの見学と説明、世界に一つしかない津波避難シェルターを案内していただいた。室戸岬では、太平洋の荒波と、長い年月を得て形成された地形を五感で感じる事ができた。ジオパークセンターでは参加者それぞれの高校所在地の地形の特色と南海トラフ地震で予想される津波の浸水地域の地形図を見せていただいた。避難シェルターでは、備えている備品やトイレなど見学し、ジオパークセンターの職員から説明を受けた。夕食後、室戸市防災対策課の職員より「室戸市の防災対策の現状と課題」について講演いただき、質疑応答、その後、ワークショップとして防災倉庫に必要なものを話しあった。



< 2日目 >

2日目は、室戸市佐喜浜町の自主防災組織のご協力のもと、自主防災倉庫の見学・自主防災会の皆さんとの意見交換を行った。避難所生活の役割分担や備品台帳の管理など室戸市の中でも高い防災意識をもち、活動も盛んである組織であるにもかかわらず、避難訓練の参加率が低いこと、地域住民との連携が課題であることに参加者から驚きの声があがった。

午後からは、室戸市の防災倉庫と非難救命艇を見学した。食料と水の貯蓄が多いことや、オムツやゼリーなど、老若男女いろんな人に対応できるように準備していることに感心している様子うかがえた。

夕食後には、学んだことのまとめ・新たな気づきについて参加者の意見を共有する時間を設けた。9名が3つのグループに分かれ、明日の発表に向けて準備を行った。



< 3日目 >

3日目は、これまでのフィールドワークのまとめ・発表を行った。室戸青少年自然の家の職員も参加し、発表会と質疑応答の時間を設けた。「こうすればよいのではないか」「ここは改善の余地があるのではないか」高校生の視点から、あらたな課題・疑問がたくさん発表され、活発な意見交換

ができた。その後、担当からこれからの実践活動と報告書についての説明を行い、閉会とした。

3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・地元の知らないことが知れてよかった。
- ・効率よく、くわしく学ぶことができた。
- ・勉強になったし、他者の新しい考え方に触れることができてよかった。
- ・体験や見学を通して室戸について学ぶことができた。

○ 事業の成果

- ・初めての事業であったが、地域や関係機関（市役所防災対策課・室戸市観光ジオパーク推進課・佐喜浜自主防災組織）との連携ができたため、充実した取り組みとなった。事後アンケートより参加者9名の満足度は100%だった。
- ・オリエンテーション合宿後の実践活動への意欲を示したものが5名いた。残りの4名のうち3名は3年生であるため、進路との両立が困難であるという理由から、オリエンテーション合宿の目的はおおむね達成できたと考える。

○ 事業の課題

- ・日程について、2泊3日は厳しい。参加希望は11名であったが、コロナ禍における学校行事や部活動の大会の変更で、不参加を余儀なくされたものがいた。
- ・オリエンテーション合宿以降の実践活動については、個人参加型であるので、学校が開いている期間での活動が困難である。夏休み中に実践活動を行わなければ、活動報告ができない現状がある。
- ・本来は、参加者の課題や疑問に応じたフィールドワークを行うべきであると考えますが、それぞれが独自の活動を行うのは現実的ではないかと思う。自分で考え・行動することもこの事業の趣旨であると思われるが、オリエンテーション合宿では一つのテーマに絞るほうが参加者の理解を得やすいと感じた。

むろと元気塾

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

自然体験活動をととして、幼児、児童、生徒のコミュニケーション能力を高めるとともに自己肯定感の向上を図る。

○ 実施期間

令和3年8月17日（火）～18日（水） 1泊2日

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

児童養護施設博愛園を利用している幼児（幼稚部6名）、児童・生徒（女子部13名）、指導者（10名） 計29名

○ 活動プログラム

8月17日(火)	8月18日(水)
8:40 博愛園 発	6:00 起床・退所点検
10:40 自然の家 着	7:30 朝食
10:50 荷物整理・入所オリエンテーション	8:30 自然の家 発
11:30 お弁当 休憩	9:00 むろと廃校水族館 見学
12:40 女子部：室内フォトビンゴ 幼稚部：軽スポーツ	10:00 むろと廃校水族館 発
13:40 休憩	11:00 女子部：室内活動 幼稚部：お絵かき・絵本
14:00 七宝焼き	12:00 昼食(食堂)
15:00 流木クラフト・焼き板工作 竹笛作り	13:00 自然の家 退所
17:20 休憩・つどい・移動	15:00 博愛園着
17:45 夕食	
18:40 ベッドメイキング・入浴	
20:00 自由時間	
21:30 就寝準備	

2. 活動の様子

<1日目>

児童養護施設博愛園（女子部・幼稚部）と連携して、むろと元気塾を行った。幼児、児童、生徒19名、指導者10名、計29名が本事業に参加した。雨天での開催になったため、2日とも荒天プログラムを実施したが、日常では体験できないプログラムによりどの参加者も楽しそうに活動することができた。また、SDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」に関連し、木を使った工作を通して、自然の豊かさや大切さについて考えるきっかけとなるようにした。

前半は、女子部は室内フォトビンゴ、幼稚部は軽スポーツを行った。室内フォトビンゴでは、難しい問題もあったが、班で協力して問題をクリアし、ポイントを探ることができていた。時間を気にしながら活動でき、上級生が下級生に「そろそろ時間がなくなるから行こう。」と声掛けをする姿が見られた。幼稚部は軽スポーツとして風船運びリレーやボール投げなどを行った。全体的に意欲的に楽しみながら行っていた。参加の難しかった幼児も途中から、風船を触ることができ、指導者に協力してもらいながら友達と活動する姿も見られた。

後半は、工作活動を行った。最初に行った七宝焼きでは、参加者が思い思いのデザインを考え制作した。焼く前と焼いた後の色の変化に気付いたり、出来上がった作品を友達と見比べ感想を伝え合ったりするなどして、楽しそうに活動していた。

焼き板工作では、ガスバーナーの火を使うことを経験したり、焼いた後の木の色の変化を楽しんだりした。作業を先に終えた参加者が、他の参加者に進んで次の作業を教えてあげていた。

竹笛では、初めての小刀に苦戦しながらも一生懸命竹を削っていく姿が見られた。出来上がった竹笛を吹きながら部屋の中を歩き、みんなから褒められてうれしそうにしている児童もいた。

流木クラフトでは、見本の手触りのよさに驚き、どの参加者も一生懸命紙やすりで削っていた。こだわりがあり、長い時間削ったり、小刀で少し形を変形させてからクラフトを作ったりするなど工夫する参加者もあり、幼児部も含めて全員丁寧に作品を作ることができていた。

夜、ベッドメイキングをする際には、参加している指導者の方々の協力もあり、自分たちでスムーズに準備することができていた。幼児の体調面も配慮し、その後はゆっくりと自由時間を過ごした。

< 2日目 >

2日目の朝は、ベッドの片付けの状態もよく、落とし物などもない状態で、普段から基本的な生活習慣の指導が徹底されていることを感じることもできた。

朝食後、むろと廃校水族館見学を行った。見たことのない魚に興味をもったり、大きなウミガメに驚いたり怖がったりしていた。自然の家の職員も魚の解説を行い、魚のおもしろい生態についても知ることができた。

帰所後、女子部は室内でコロナ感染に配慮した非接触型の簡単なゲームを行った。目でコミュニケーションをとったり、みんなで協力したりすることができた。幼児部は、室戸市やむろと廃校水族館にちなんで、海の生物のぬり絵を行い、楽しそうに活動していた。「もっとしたい。」と裏面に自ら絵を描いて塗っている幼児もいた。

3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・雨天でいろいろと予定が変わり、残念な気持ちでいっぱいでしたが、普段できない体験をすることができて、とても楽しく充実した時間でした。(高校生)
- ・みんなと協力する大切さ考えることができた。(中学生)
- ・焼き板工作も、七宝焼きも楽しくできたのでよかったし、いろいろな体験もできてよかった。廃校水族館に魚もいっぱいいたし、特にエイがおもしろかったです。(小学生)

- ・活動内容が多く、子どもたちが楽しそうだった。良い夏の思い出になった。(指導者)
- ・お天気が良い時に海活動がしたかった。(指導者)

○ 事業の成果

- ・最初は不安そうだった児童も活動をするに連れて、緊張が解け笑顔で取り組むことができていた。
- ・室内フォトビンゴや軽スポーツを通して、参加者同士でコミュニケーションを取り、意欲的に関わることができていた。
- ・工作活動では、夢中になって活動を行い、一人一人思いのこもった作品を仕上げている。先に仕上げた人が次の人に教えてあげるなど、自然と協力する姿勢が身についていた。指導者からも流木クラフトを体験し、またやりたいという感想があった。自分の作品を友達や指導者に嬉しそうに見せる児童もおり、上手に作ることができたという自信をもつことができていた。
- ・むろと廃校水族館では、普段見ることのない生物を見て感動していた。また、サメの体内から出てきた海洋ゴミを見たりすることを通して、海の環境を大切にしたいという気持ちをもつことができた。
- ・基本的な生活習慣が身についており、自然の家でもその経験が生きていたので、これからも続けてほしいと伝えた。自然の家職員も日々の指導の積み重ねの大切さに改めて気付くことができた。

○ 事業の課題

- ・今年度は海活動（SUP）、ドルフィンセンターでの活動が荒天のため実施できなかったが、工作活動を十分楽しみながら活動できてよかった。来年度は荒天でも体を動かす活動や、室戸の自然をさらに感じられるような活動も考えていきたいと感じた。
- ・学年が大きく違う児童が集まっている団体なので、それぞれの学年が満足できる活動を考えなければならないと感じた。特に幼児部は、実態に合わせて楽しめる活動をさらに考えていきたい。

夏だ！海だ！室戸だ！エンジョイキャンプ

(ボランティア自主企画事業)

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

非日常の体験を通して、何事にも全力で楽しむ力を育む

○ 実施期間

ボランティア：令和3年8月10日（火）～令和3年8月16日（月）6泊7日

小学生参加者：1回目 令和3年8月11日（水）～令和3年8月12日（木）1泊2日

2回目 令和3年8月14日（土）～令和3年8月15日（日）1泊2日

○ 対象者・参加者数 (参加人数/定員/応募者)

ボランティア (23名/—/—)

小学4～6年生1回目 (25名/25名/104名)

小学4～6年生2回目 (20名/20名/47名)

○ 活動プログラム

	午前	午後	夜
8/10 (火) <前日準備日>		12:00 自然の家 着(ボラ) 事前準備	事前準備
8/11 (水) <1回目1日目>	09:00 送迎バス 発 11:30 海浜活動センター 着 開講式・昼食	12:40 アイスブレイク 13:30 磯観察(海浜C前浜) 15:00 バス移動 15:30 自然の家着 テント設営(研修室内)	夕食・入浴 キャンドルファイア 研修室・PRにてテント泊
8/12 (木) <1回目2日目>	テント撤収・朝食 クラフト(フォトフレーム) 昼食	閉講式 14:00 送迎バス 発(小学生)	ミーティング
8/13 (金) <中間準備日>	ミーティング 2回目の準備		
8/14 (土) <2回目1日目>	09:00 送迎バス 発 11:30 海浜活動センター 着 開講式・昼食	13:00 アイスブレイク 13:30 バス移動 室戸岬散策 14:00 廃校水族館 見学 16:00 自然の家着 テント設営(体育館)	夕食・入浴 キャンドルファイア 体育館にてテント泊
8/15 (日) <2回目2日目>	テント撤収・朝食 クラフト(フォトフレーム) 昼食	閉講式 14:00 送迎バス 発(小学生)	後片付け ミーティング
8/16 (月) <整理日>	後片付け 活動反省会	13:30 自然の家 発(ボラ)	

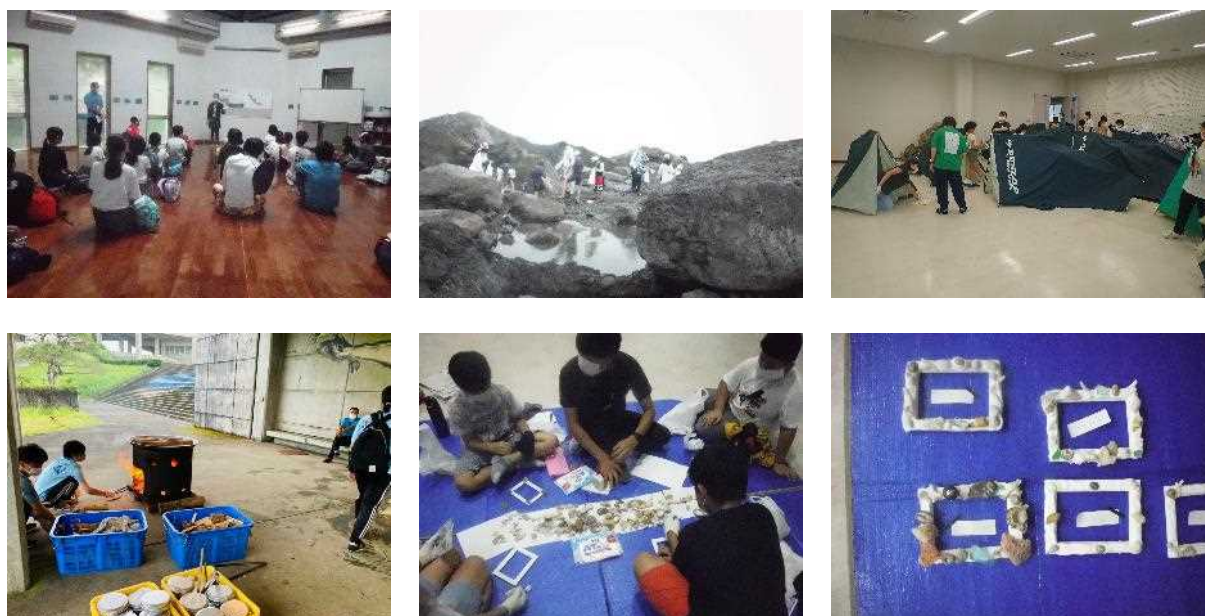
2. 活動の様子

<前日準備日 8月10日>



一昨年までは小学生を対象にした4泊5日のキャンプをボランティア自主企画として実施していたが（令和2年度は事業中止）、本年は1泊2日のキャンプを2回連続で開催する形態となった。例年であれば開催までに週毎に対面ミーティングを実施し、ボランティアリーダー間での意思疎通が十分な状態で事業に臨むことができているが、コロナ禍のためオンラインにて企画立案と事業準備が進められた。企画開始以来この場で初めて対面するリーダーもあることから、モニター画面越しの顔を実像と結びつけることからスタートした。全体ミーティングの後、セクションごとに分かれて翌日からのエンジョイキャンプの受け入れ準備を行った。

<1回目 8月11日・12日>

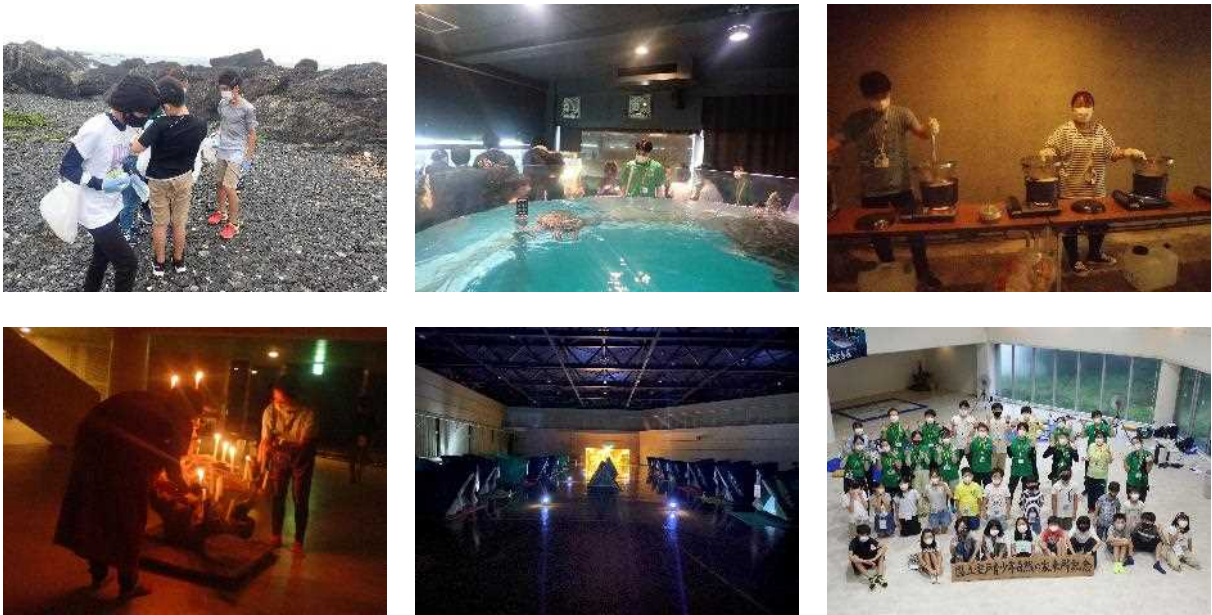


8月には珍しい長雨と低温により、荒天プログラムとなった。一日目午後の磯観察も雨具着用での実施となった。雨粒が水面を叩くあいにくのコンディションであったが、室戸の磯の様々な生物の会う時間となった。夕方からは横殴りの雨となったため、テントは研修室での設営となった。翌日は磯観察の際に収集した素材も交えて、フォトフレームを作成した。サンゴや貝殻、シーグラスなどをちりばめた作品が出来上がった。

<中間準備日 8月13日>

一回目のふりかえりと考察を行った。明日からの2回目の活動を充実させるために様々な改善点が提起される活発なディスカッションが行われた。自然の家職員から子供への対応に関してケーススタディが行われた。また、明日以降の天候に対応プログラム変更についても検討が行われた。

<2回目 8月14日・15日>



前日までの予報通りさらに海況が悪化し磯場に近づけない状況となったため、磯観察をビーチコーミングに変更した。また、代替活動としてむろと廃校水族館を見学した。以後も天気が回復せず、テントも体育館での設営となった。それ以外は夜のキャンドルファイア、翌日のクラフト制作と屋内活動の設定であったため、予定どおりのプログラム進行となった。

<整理日8月16日>

子供たちが帰った後、事業の振り返りを行った。活動セクションごとに課題と反省点をまとめ、先輩リーダーや職員からアドバイスを受けた。次年度の夏の自主企画を円滑に進めることができるように、問題点の洗い出しと引継ぎ資料の整理を行った。

3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・リーダーの人たちがとても声をかけてくれたのでうれしかったです。ひろった貝でフォトフレームを作るのが楽しかったです。次も工作をしたいです。(1回目・小6女)
- ・リーダーさんの考えた中身も良かったし、わかenらいことやできないことがあったらすぐきいてくれたのですごくよかったです。(1回目・小5女)
- ・このイベントの2日間で、すごくいろんな人と友達になって楽しかった。テントをたてたりするのが楽しかった。一番楽しかったのはいそあそびで、バディとみんなでこうどうして、きずなをふかめれたからです。(1回目・小5男)
- ・貝をひろうとき、風がすごい強かったのでいんしょうに残った。水族館、キャンプファイヤーがぼくは楽しかった。(2回目・小6男)
- ・風や雨があつたけどすごく楽しくすごせました。水族館ではほんと行動して生き物たちを見れて良かったです。キャンドルファイヤーではすごくきれいでおもしろいレクが見れてすごくうれしかったです。また来たいなと思いました。(2回目・小5女)

○ ボランティアリーダーの感想

- ・コロナや天気やと企画から本番まで様々な外的要因に苦しめられたとおもうけど子どもたちが来たときよりも笑顔で「楽しかった」と言って帰ってくれたし、自分も夏企画に参加して、子どもたちを迎えることができるとても楽しかったので、全体としてすごく良いキャンプだったと思います。(大学3年・女)

・はじめての自主企画で分からないこともとまどうこともあったけど、他の人の協力もあり無事に終えたと思います。天候が荒れ、急な変更もあったりしたけど、子どもたちもリーダーも楽しんでる姿を見れ、とても印象に残る1週間になりました。次の企画や事業では今回の反省点を活かしていきたいと思います。(大学2年・女)

・個人でやることが多いと感じた。コロナ禍のためにしかたない部分もあったかもしれない。キャンプのようにカレーを食べたり、野菜を丸かじりしたり、テントで寝たりと非日常を味わうことができたのはよかったと思う。コロナウイルスの対策もしっかりできているように感じた。

(大学1年・男)

・コロナ禍で厳しい中、なんとか企画事業として「やった」と言える1週間となりました。不十分な点、まだまだ力不足な点、悔しかった点たくさんありましたが、思った事、感じた事は次の財産になると思います。今、私たちが感じているモノをしっかりと次へ、これからへつなげる一歩として、夏企画がつながっていたら良いなと思います。私たち自身でもこれからのことをしっかりと考えていきます。(大学3年・女)

○ 事業の成果

・昨年度は夏、冬のボランティア自主企画事業がいずれも中止となりボランティアリーダー間でのノウハウ継承に不安があった。しかしながら前年の冬企画のAD職リーダーが引き続き本企画も担当したため、組織運営面はスムーズに進行させることができた。各所属大学の課外活動ガイドラインで集合・対面活動が制限されたことにより、ほぼすべての準備作業がオンライン上での活動となり、参加リーダーが一堂に会したのが事業当日となった。コロナ禍での体験活動機会の減少傾向から、引き続き旺盛な参加需要があり、対応可能な1回目の募集定員を増員することとなった。

・同一内容を2回実施したこと、1回目での問題点を整理・解決するための中間準備日を設定したことは大変有効であった。大学1・2回生のボランティアリーダーは教育事業での活動経験が浅いことから、自分自身の行動や子供への対応に不安があったようだが、1回目の振り返りと考察を入念に行うことで、自信をもって2回目に臨むことができた。

・本事業で確立されたソロテント宿泊・個調理個食形態は「がっこうキャンプ」としてパッケージプログラム化され、令和3年度下半期の出前授業形式の研修支援として、徳島県南部地域の学校に対する利用促進・PR活動に活用された。

高校グランピング事業
がっこうキャンプ
presented by 国立室戸青少年自然の家

- ・室内へ行けないうちが邪魔しません!
- ・自然の家職員がキャンプ道具全てを持参します。
- ・一人用テントなので、コロナ対策もバッチリ!
- ・テントは校庭でも体育館でも設営できます。
- ・防災教育にもピッタリ! 防災食も対応可です。
- ・実施プランはオーダーメイドで作成します。
- ・まずはお電話ください。0887-23-2314

しょくじ ★食器・流用も持参します。
★レトルト食品も準備中。
★カーポートも、(別途費用)
※お料理も活用可です。
※お料理も活用可です。
※お料理も活用可です。
テント
ソロテント、2人用、4人用、6人用、8人用、10人用、12人用、14人用、16人用、18人用、20人用、22人用、24人用、26人用、28人用、30人用、32人用、34人用、36人用、38人用、40人用、42人用、44人用、46人用、48人用、50人用、52人用、54人用、56人用、58人用、60人用、62人用、64人用、66人用、68人用、70人用、72人用、74人用、76人用、78人用、80人用、82人用、84人用、86人用、88人用、90人用、92人用、94人用、96人用、98人用、100人用、102人用、104人用、106人用、108人用、110人用、112人用、114人用、116人用、118人用、120人用、122人用、124人用、126人用、128人用、130人用、132人用、134人用、136人用、138人用、140人用、142人用、144人用、146人用、148人用、150人用、152人用、154人用、156人用、158人用、160人用、162人用、164人用、166人用、168人用、170人用、172人用、174人用、176人用、178人用、180人用、182人用、184人用、186人用、188人用、190人用、192人用、194人用、196人用、198人用、200人用、202人用、204人用、206人用、208人用、210人用、212人用、214人用、216人用、218人用、220人用、222人用、224人用、226人用、228人用、230人用、232人用、234人用、236人用、238人用、240人用、242人用、244人用、246人用、248人用、250人用、252人用、254人用、256人用、258人用、260人用、262人用、264人用、266人用、268人用、270人用、272人用、274人用、276人用、278人用、280人用、282人用、284人用、286人用、288人用、290人用、292人用、294人用、296人用、298人用、300人用、302人用、304人用、306人用、308人用、310人用、312人用、314人用、316人用、318人用、320人用、322人用、324人用、326人用、328人用、330人用、332人用、334人用、336人用、338人用、340人用、342人用、344人用、346人用、348人用、350人用、352人用、354人用、356人用、358人用、360人用、362人用、364人用、366人用、368人用、370人用、372人用、374人用、376人用、378人用、380人用、382人用、384人用、386人用、388人用、390人用、392人用、394人用、396人用、398人用、400人用、402人用、404人用、406人用、408人用、410人用、412人用、414人用、416人用、418人用、420人用、422人用、424人用、426人用、428人用、430人用、432人用、434人用、436人用、438人用、440人用、442人用、444人用、446人用、448人用、450人用、452人用、454人用、456人用、458人用、460人用、462人用、464人用、466人用、468人用、470人用、472人用、474人用、476人用、478人用、480人用、482人用、484人用、486人用、488人用、490人用、492人用、494人用、496人用、498人用、500人用、502人用、504人用、506人用、508人用、510人用、512人用、514人用、516人用、518人用、520人用、522人用、524人用、526人用、528人用、530人用、532人用、534人用、536人用、538人用、540人用、542人用、544人用、546人用、548人用、550人用、552人用、554人用、556人用、558人用、560人用、562人用、564人用、566人用、568人用、570人用、572人用、574人用、576人用、578人用、580人用、582人用、584人用、586人用、588人用、590人用、592人用、594人用、596人用、598人用、600人用、602人用、604人用、606人用、608人用、610人用、612人用、614人用、616人用、618人用、620人用、622人用、624人用、626人用、628人用、630人用、632人用、634人用、636人用、638人用、640人用、642人用、644人用、646人用、648人用、650人用、652人用、654人用、656人用、658人用、660人用、662人用、664人用、666人用、668人用、670人用、672人用、674人用、676人用、678人用、680人用、682人用、684人用、686人用、688人用、690人用、692人用、694人用、696人用、698人用、700人用、702人用、704人用、706人用、708人用、710人用、712人用、714人用、716人用、718人用、720人用、722人用、724人用、726人用、728人用、730人用、732人用、734人用、736人用、738人用、740人用、742人用、744人用、746人用、748人用、750人用、752人用、754人用、756人用、758人用、760人用、762人用、764人用、766人用、768人用、770人用、772人用、774人用、776人用、778人用、780人用、782人用、784人用、786人用、788人用、790人用、792人用、794人用、796人用、798人用、800人用、802人用、804人用、806人用、808人用、810人用、812人用、814人用、816人用、818人用、820人用、822人用、824人用、826人用、828人用、830人用、832人用、834人用、836人用、838人用、840人用、842人用、844人用、846人用、848人用、850人用、852人用、854人用、856人用、858人用、860人用、862人用、864人用、866人用、868人用、870人用、872人用、874人用、876人用、878人用、880人用、882人用、884人用、886人用、888人用、890人用、892人用、894人用、896人用、898人用、900人用、902人用、904人用、906人用、908人用、910人用、912人用、914人用、916人用、918人用、920人用、922人用、924人用、926人用、928人用、930人用、932人用、934人用、936人用、938人用、940人用、942人用、944人用、946人用、948人用、950人用、952人用、954人用、956人用、958人用、960人用、962人用、964人用、966人用、968人用、970人用、972人用、974人用、976人用、978人用、980人用、982人用、984人用、986人用、988人用、990人用、992人用、994人用、996人用、998人用、1000人用、1002人用、1004人用、1006人用、1008人用、1010人用、1012人用、1014人用、1016人用、1018人用、1020人用、1022人用、1024人用、1026人用、1028人用、1030人用、1032人用、1034人用、1036人用、1038人用、1040人用、1042人用、1044人用、1046人用、1048人用、1050人用、1052人用、1054人用、1056人用、1058人用、1060人用、1062人用、1064人用、1066人用、1068人用、1070人用、1072人用、1074人用、1076人用、1078人用、1080人用、1082人用、1084人用、1086人用、1088人用、1090人用、1092人用、1094人用、1096人用、1098人用、1100人用、1102人用、1104人用、1106人用、1108人用、1110人用、1112人用、1114人用、1116人用、1118人用、1120人用、1122人用、1124人用、1126人用、1128人用、1130人用、1132人用、1134人用、1136人用、1138人用、1140人用、1142人用、1144人用、1146人用、1148人用、1150人用、1152人用、1154人用、1156人用、1158人用、1160人用、1162人用、1164人用、1166人用、1168人用、1170人用、1172人用、1174人用、1176人用、1178人用、1180人用、1182人用、1184人用、1186人用、1188人用、1190人用、1192人用、1194人用、1196人用、1198人用、1200人用、1202人用、1204人用、1206人用、1208人用、1210人用、1212人用、1214人用、1216人用、1218人用、1220人用、1222人用、1224人用、1226人用、1228人用、1230人用、1232人用、1234人用、1236人用、1238人用、1240人用、1242人用、1244人用、1246人用、1248人用、1250人用、1252人用、1254人用、1256人用、1258人用、1260人用、1262人用、1264人用、1266人用、1268人用、1270人用、1272人用、1274人用、1276人用、1278人用、1280人用、1282人用、1284人用、1286人用、1288人用、1290人用、1292人用、1294人用、1296人用、1298人用、1300人用、1302人用、1304人用、1306人用、1308人用、1310人用、1312人用、1314人用、1316人用、1318人用、1320人用、1322人用、1324人用、1326人用、1328人用、1330人用、1332人用、1334人用、1336人用、1338人用、1340人用、1342人用、1344人用、1346人用、1348人用、1350人用、1352人用、1354人用、1356人用、1358人用、1360人用、1362人用、1364人用、1366人用、1368人用、1370人用、1372人用、1374人用、1376人用、1378人用、1380人用、1382人用、1384人用、1386人用、1388人用、1390人用、1392人用、1394人用、1396人用、1398人用、1400人用、1402人用、1404人用、1406人用、1408人用、1410人用、1412人用、1414人用、1416人用、1418人用、1420人用、1422人用、1424人用、1426人用、1428人用、1430人用、1432人用、1434人用、1436人用、1438人用、1440人用、1442人用、1444人用、1446人用、1448人用、1450人用、1452人用、1454人用、1456人用、1458人用、1460人用、1462人用、1464人用、1466人用、1468人用、1470人用、1472人用、1474人用、1476人用、1478人用、1480人用、1482人用、1484人用、1486人用、1488人用、1490人用、1492人用、1494人用、1496人用、1498人用、1500人用、1502人用、1504人用、1506人用、1508人用、1510人用、1512人用、1514人用、1516人用、1518人用、1520人用、1522人用、1524人用、1526人用、1528人用、1530人用、1532人用、1534人用、1536人用、1538人用、1540人用、1542人用、1544人用、1546人用、1548人用、1550人用、1552人用、1554人用、1556人用、1558人用、1560人用、1562人用、1564人用、1566人用、1568人用、1570人用、1572人用、1574人用、1576人用、1578人用、1580人用、1582人用、1584人用、1586人用、1588人用、1590人用、1592人用、1594人用、1596人用、1598人用、1600人用、1602人用、1604人用、1606人用、1608人用、1610人用、1612人用、1614人用、1616人用、1618人用、1620人用、1622人用、1624人用、1626人用、1628人用、1630人用、1632人用、1634人用、1636人用、1638人用、1640人用、1642人用、1644人用、1646人用、1648人用、1650人用、1652人用、1654人用、1656人用、1658人用、1660人用、1662人用、1664人用、1666人用、1668人用、1670人用、1672人用、1674人用、1676人用、1678人用、1680人用、1682人用、1684人用、1686人用、1688人用、1690人用、1692人用、1694人用、1696人用、1698人用、1700人用、1702人用、1704人用、1706人用、1708人用、1710人用、1712人用、1714人用、1716人用、1718人用、1720人用、1722人用、1724人用、1726人用、1728人用、1730人用、1732人用、1734人用、1736人用、1738人用、1740人用、1742人用、1744人用、1746人用、1748人用、1750人用、1752人用、1754人用、1756人用、1758人用、1760人用、1762人用、1764人用、1766人用、1768人用、1770人用、1772人用、1774人用、1776人用、1778人用、1780人用、1782人用、1784人用、1786人用、1788人用、1790人用、1792人用、1794人用、1796人用、1798人用、1800人用、1802人用、1804人用、1806人用、1808人用、1810人用、1812人用、1814人用、1816人用、1818人用、1820人用、1822人用、1824人用、1826人用、1828人用、1830人用、1832人用、1834人用、1836人用、1838人用、1840人用、1842人用、1844人用、1846人用、1848人用、1850人用、1852人用、1854人用、1856人用、1858人用、1860人用、1862人用、1864人用、1866人用、1868人用、1870人用、1872人用、1874人用、1876人用、1878人用、1880人用、1882人用、1884人用、1886人用、1888人用、1890人用、1892人用、1894人用、1896人用、1898人用、1900人用、1902人用、1904人用、1906人用、1908人用、1910人用、1912人用、1914人用、1916人用、1918人用、1920人用、1922人用、1924人用、1926人用、1928人用、1930人用、1932人用、1934人用、1936人用、1938人用、1940人用、1942人用、1944人用、1946人用、1948人用、1950人用、1952人用、1954人用、1956人用、1958人用、1960人用、1962人用、1964人用、1966人用、1968人用、1970人用、1972人用、1974人用、1976人用、1978人用、1980人用、1982人用、1984人用、1986人用、1988人用、1990人用、1992人用、1994人用、1996人用、1998人用、2000人用、2002人用、2004人用、2006人用、2008人用、2010人用、2012人用、2014人用、2016人用、2018人用、2020人用、2022人用、2024人用、2026人用、2028人用、2030人用、2032人用、2034人用、2036人用、2038人用、2040人用、2042人用、2044人用、2046人用、2048人用、2050人用、2052人用、2054人用、2056人用、2058人用、2060人用、2062人用、2064人用、2066人用、2068人用、2070人用、2072人用、2074人用、2076人用、2078人用、2080人用、2082人用、2084人用、2086人用、2088人用、2090人用、2092人用、2094人用、2096人用、2098人用、2100人用、2102人用、2104人用、2106人用、2108人用、2110人用、2112人用、2114人用、2116人用、2118人用、2120人用、2122人用、2124人用、2126人用、2128人用、2130人用、2132人用、2134人用、2136人用、2138人用、2140人用、2142人用、2144人用、2146人用、2148人用、2150人用、2152人用、2154人用、2156人用、2158人用、2160人用、2162人用、2164人用、2166人用、2168人用、2170人用、2172人用、2174人用、2176人用、2178人用、2180人用、2182人用、2184人用、2186人用、2188人用、2190人用、2192人用、2194人用、2196人用、2198人用、2200人用、2202人用、2204人用、2206人用、2208人用、2210人用、2212人用、2214人用、2216人用、2218人用、2220人用、2222人用、2224人用、2226人用、2228人用、2230人用、2232人用、2234人用、2236人用、2238人用、2240人用、2242人用、2244人用、2246人用、2248人用、2250人用、2252人用、2254人用、2256人用、2258人用、2260人用、2262人用、2264人用、2266人用、2268人用、2270人用、2272人用、2274人用、2276人用、2278人用、2280人用、2282人用、2284人用、2286人用、2288人用、2290人用、2292人用、2294人用、2296人用、2298人用、2300人用、2302人用、2304人用、2306人用、2308人用、2310人用、2312人用、2314人用、2316人用、2318人用、2320人用、2322人用、2324人用、2326人用、2328人用、2330人用、2332人用、2334人用、2336人用、2338人用、2340人用、2342人用、2344人用、2346人用、2348人用、2350人用、2352人用、2354人用、2356人用、2358人用、2360人用、2362人用、2364人用、2366人用、2368人用、2370人用、2372人用、2374人用、2376人用、2378人用、2380人用、2382人用、2384人用、2386人用、2388人用、2390人用、2392人用、2394人用、2396人用、2398人用、2400人用、2402人用、2404人用、2406人用、2408人用、2410人用、2412人用、2414人用、2416人用、2418人用、2420人用、2422人用、2424人用、2426人用、2428人用、2430人用、2432人用、2434人用、2436人用、2438人用、2440人用、2442人用、2444人用、2446人用、2448人用、2450人用、2452人用、2454人用、2456人用、2458人用、2460人用、2462人用、2464人用、2466人用、2468人用、2470人用、2472人用、2474人用、2476人用、2478人用、2480人用、2482人用、2484人用、2486人用、2488人用、2490人用、2492人用、2494人用、2496人用、2498人用、2500人用、2502人用、2504人用、2506人用、2508人用、2510人用、2512人用、2514人用、2516人用、2518人用、2520人用、2522人用、2524人用、2526人用、2528人用、2530人用、2532人用、2534人用、2536人用、2538人用、2540人用、2542人用、2544人用、2546人用、2548人用、2550人用、2552人用、2554人用、2556人用、2558人用、2560人用、2562人用、2564人用、2566人用、2568人用、2570人用、2572人用、2574人用、2576人用、2578人用、2580人用、2582人用、2584人用、2586人用、2588人用、2590人用、2592人用、2594人用、2596人用、2598人用、2600人用、2602人用、2604人用、2606人用、2608人用、2610人用、2612人用、2614人用、2616人用、2618人用、2620人用、2622人用、2624人用、2626人用、2628人用、2630人用、2632人用、2634人用、2636人用、2638人用、2640人用、2642人用、2644人用、2646人用、2648人用、2650人用、2652人用、2654人用、2656人用、2658人用、2660人用、2662人用、2664人用、2666人用、2668人用、2670人用、2672人用、2674人用、2676人用、2678人用、2680人用、2682人用、2684人用、2686人用、2688人用、2690人用、2692人用、2694人用、2696人用、2698人用、2700人用、2702人用、2704人用、2706人用、2708人用、2710人用、2712人用、2714人用、2716人用、2718人用、2720人用、2722人用、2724人用、2726人用、2728人用、2730人用、2732人用、2734人用、2736人用、2738人用、2740人用、2742人用、2744人用、2746人用、2748人用、2750人用、2752人用、2754人用、2756人用、2758人用、2760人用、2762人用、2764人用、2766人用、2768人用、2770人用、2772人用、2774人用、2776人用、2778人用、2780人用、2782人用、2784人用、2786人用、2788人用、2790人用、2792人用、2794人用、2796人用、2798人用、2800人用、2802人用、2804人用、2806人用、2808人用、2810人用、2812人用、2814人用、2816人用、2818人用、2820人用、2822人用、2824人用、2826人用、2828人用、2830人用、2832人用、2834人用、2836人用、2838人用、2840人用、2842人用、2844人用、2846人用、2848人用、2850人用、2852人用、2854人用、2856人用、2858人用、2860人用、2862人用、2864人用、2866人用、2868人用、2870人用、2872人用、2874人用、2876人用、2878人用、2880人用、2882人用、2884人用、2886人用、2888人用、2890人用、2892人用、2894人用、2896人用、2898人用、2900人用、2902人用、2904人用、2906人用、2908人用、2910人用、2912人用、2914人用、2916人用、2918人用、2920人用、2922人用、2924人用、2926人用、2928人用、2930人用、2932人用、2934人用、2936人用、2938人用、2940人用、2942人用、2944人用、2946人用、2948人用、2950人用、2952人用、2954人用、2956人用、2958人用、2960人用、2962人用、2964人用、2966人用、2968人用、2970人用、2972人用、2974人用、2976人用、2978人用、2980人用、2982人用、2984人用、2986人用、2988人用、2990人用、2992人用、2994人用、2996人用、2998人用、3000人用、3002人用、3004人用、3006人用、3008人用、3010人用、3012人用、3014人用、3016人用、3018人用、3020人用、3022人用、3024人用、3026人用、3028人用、3030人用、3032人用、3034人用、3036人用、3038人用、3040人用、3042人用、3044人用、3046人用、3048人用、3050人用、3052人用、3054人用、3056人用、3058人用、3060人用、3062人用、3064人用、3066人用、3068人用、3070人用、3072人用、3074人用、3076人用、3078人用、3080人用、3082人用、3084人用、3086人用、3088人用、3090人用、3092人用、3094人用、3096人用、3098人用、3100人用、3102人用、3104人用、3106人用、3108人用、3110人用、3112人用、3114人用、3116人用、3118人用、3120人用、3122人用、3124人用、3126人用、3128人用、3130人用、3132人用、3134人用、3136人用、3138人用、3140人用、3142人用、3144人用、3146人用、3148人用、3150人用、3152人用、3154人用、3156人用、3158人用、3160人用、3162人用、3164人用、3166人用、3168人用、3170人用、3172人用、3174人用、3176人用、3178人用、3180人用、3182人用、3184人用、3186人用、3188人用、3190人用、3192人用、3194人用、3196人用、3198人用、3200人用、3202人用、3204人用、3206人用、3208人用、3210人用、3212人用、3214人用、3216人用、3218人用、3220人用、3222人用、3224人用、3226人用、3228人用、3230人用、3232人用、3234人用、3236人用、3238人用、3240人用、3242人用、3244人用、3246人用、3248人用、3250人用、3252人用、3254人用、3256人用、3258人用、3260人用、3262人用、3264人用、3266人用、3268人用、3270人用、3272人用、3274人用、3276人用、3278人用、3280人用、3282人用、3284人用、3286人用、3288人用、3290人用、3292人用、3294人用、3296人用、3298人用、3300人用、3302人用、3304人用、3306人用、3308人用、3310人用、3312人用、3314人用、3316人用、3318人用、3320人用、3322人用、3324人用、3326人用、3328人用、3330人用、3332人用、3334人用、3336人用、3338人用、3340人用、3342人用、3344人用、3346人用、3348人用、3350人用、3352人用、3354人用、3356人用、3358人用、3360人用、3362人用、3364人用、3366人用、3368

○ 事業の課題

・ボランティアリーダーの所属する大学の課外活動ガイドラインに基づく活動ステップの動向に尽きる。本年度は8月上旬に活動ステップが緩和された時期があったので、僥倖にも事業を実施できたが、事業後、日を経たずして新たな感染の波が起こり活動ステップも厳化された。冬企画については年度末まで延期して実施の機会を探ったが事業中止となった。事前準備を重ねたうえでの事業中止はボランティアリーダーの士気に大きく影響することからモチベーションを保ち、活動意欲を維持させる効果的な支援の必要性を痛感している。

自然体験活動指導者養成研修(NEAL リーダー)

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者(NEAL リーダー)を養成する。

○ 実施期間

令和3年10月30日(土)～10月31日(日) および令和3年11月27日(土)

○ 対象者・参加者数(人数/定員)

自然体験活動を指導する意思のある18歳以上の方 (10名/20名)

○ 活動プログラム

10月30日(土) 【国立室戸青少年自然の家】		
12:30 開講式・ガイダンス	13:40 自然体験活動の技術①	17:45 夕食(食堂食)
19:00 自然体験活動の技術②	21:00 入浴・就寝	
10月31日(日) 【国立室戸青少年自然の家】		
07:30 朝食(食堂食)	09:00 自然体験活動の特質	12:00 昼食(食堂食)
13:00 自然体験活動の指導	14:30 講義のまとめ	
11月27日(土) 【高知大学朝倉キャンパス】		
09:00 青少年教育における体験活動	10:40 対象者理解	12:10 昼食休憩
13:00 自然体験活動の安全管理	16:15 認定試験	16:45 終了

2. 活動の様子

本年度は1泊2日での当施設での開催とオンライン講義を組み合わせる計画であったが、参加者の所属する大学の課外活動ガイドラインが緩和されたことからオンライン講義を高知市内での日帰りの対面形式に変更した。

国立室戸青少年自然の家ではフィールド演習を中心とした1泊2日のプログラムを実施した。NEAL制度の仕組み、NEALリーダーの役割を理解するガイダンスの後、「自然体験活動の技術」ではWILDBLUE代表の田辺秀氏より様々な自然体験活動のプログラム紹介の他、プログラムにはそれぞれの狙いがあり、導入・展開・まとめの構成のなかで魅力的で楽しく感動を伝えられることが大事であることが提示された。「自然体験活動の特質」では所内に活動の場を移し、ネイチャーゲームを織り交ぜながら地域の自然体験活動の特色を理解する内容を学んだ。「自然体験活動の指導」では高知県キャンプ協会の瀬沼健氏が指導者としての基本的な心構えについての講義を行った。高知大学朝倉キャンパスでは講義



形式と屋内演習を実施した。

3. 事業の成果と課題

○ 事業の成果

- ・少人数での開催となったが、参加者のこれまでの体験を重視し、各自の内容理解を深める組み立てを行った。法人ボランティアとしてのスキルアップ研修、フォローアップ研修の位置づけとしても実施することが出来た。
- ・今回初めて高知大学朝倉キャンパスに会場を設定したが、参加者の大半が所属する大学であったため集合の都合もよく、有効な時間配分の下で実施することができた。

○ 事業の課題

- ・当施設の法人ボランティアのほぼすべてが大学生であり、所属大学の課外活動ガイドラインの活動ステップを遵守してボランティア活動を行っている。県外からの来訪者や県内でも不特定の他者との接触を禁止する活動ステップのため、広く事業募集を行わず、法人ボランティアのみを参加対象とした。このため、①県外からの講師招聘ができない、②2年ぶりの開催であったが参加人数が寡少となったといった点が課題となった。

イングリッシュキャンプ

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

外国語を用いた体験活動を通して、異文化・言語に体験的にふれあい、外国語について学ぶ意欲を高めるとともに、外国人とコミュニケーションを図る素養を高める。

○ 実施期間

令和3年11月13日（土）～14日（日） 1泊2日

○ 対象者・参加者数

小学3・4年生 19名

○ 指導者等

高知県在住の外国語指導助手（ALT）

アメリカ2名、イギリス1名、オーストラリア1名、カナダ1名

国立室戸青少年自然の家職員2名

○ 活動プログラム

	11月13日（土）		11月14日（日）
9:30	高知方面送迎バス出発	6:00	起床
10:00	徳島方面送迎バス出発	7:45	朝食
12:00	自然の家到着	9:00	ミッションゲーム
12:15	昼食	10:30	流木クラフト
13:45	開講式・入所オリエンテーション	12:00	昼食
14:00	自己紹介 名刺交換	13:15	閉講式
	フィールドフォトビンゴ	13:30	自然の家発
17:15	夕食・自由時間	15:30	徳島方面送迎バス到着
18:30	キャンプファイア	16:30	高知方面送迎バス到着
	・外国人講師のレクリエーションやダンス		
20:00	入浴		
22:00	就寝		

2. 活動の様子

<1日目>

今年度の「イングリッシュキャンプ」は、定員を20名とし、高知・徳島方面の小学3年生から4年生を対象に募集を行った（参加者19名）。また、高知県在住の外国語指導助手（ALT）を講師として5名招き、イングリッシュキャンプの活動を行った。

開講式後は、A L T が名前や出身国、好きな食べ物や趣味について英語で自己紹介を行った。児童は、A L T が話す英語を一生懸命聞き、理解しようとしていた。また、A L T の自己紹介や一生懸命英語で書いた自分の名札を参考にして、意欲的に自己紹介をしていた。その後、名前や好きな果物を英語で記載した名刺を作成し、グループ内で交換した。あいさつも交えながら英語で自己紹介し、A L T、学生ボランティア、参加児童と楽しみながら交換していた。

休憩後は、グループに分かれてフィールドフォトビンゴの活動を行った。活動中は、A L T が英語で参加児童に積極的にに関わり、児童は楽しみながらゲームを行う中で自然と英語を使うことができた。英語を使うことに抵抗のある児童も何とかA L T とコミュニケーションを取ろうとする姿が多く見られた。

夜間の活動では、キャンプファイアを行った。A L T が準備したレクリエーションやダンスを体験する中で、楽しみながら英語に慣れ親しんでいた。



< 2日目 >

2日目は、ミッションゲームと流木クラフトを行った。ミッションゲームでは、4つのグループに分かれ、各グループがA L T と自然の家の施設を回り、6つのミッションに挑んだ。昨年度に引き続き、ソーシャルディスタンス確保のため、直接的な触れ合いを伴わないミッションでの活動とした。グループの仲間と協力してミッションに挑戦する中で、A L T や友達と積極的に英語を用いてコミュニケーションをとったり、ミッション達成を共に喜び合ったりする姿が見られた。ミッションゲーム終了後は、流木クラフトの活動を行った。作業での手順が分からない時、英語で外国人とコミュニケーションをとっている児童もいた。また、完成した作品をA L T に見せながら嬉しそうに英語で話していた。2日間の活動を通して、児童は自然体験活動を行う中で自然に英語を学んで使い、自ら進んでA L T と関わろうとする態度を身に付けていた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・ 英語で友達やリーダーさん、ALTと話せてよかった。
- ・ イングリッシュフォトビンゴがおもしろかった。
- ・ 英語が前より話せるようになった気がする。
- ・ いろいろな英語を知ることができてよかった。
- ・ キャンプファイアで外国の先生と一緒にレクレーションができておもしろかった。
- ・ ALTの好きな動物や食べ物を知ることができてよかった。

○ 事業の成果

- ・ 各グループへ1名ずつALTの配置、全体での活動説明を英語でもらうことで、英語に触れる機会を増やすことができた。休憩時間等も、ALTがゲームをしてくれたり、話をしてくれたりすることで、楽しみながら英語を使ったり覚えたりすることができ、常に英語に触れることができる2日間となった。
- ・ 名刺交換、ミッションゲーム、フィールドフォトビンゴなど様々な活動を通して、積極的にALTや友達と英語で関わり、自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することができた。

○ 事業の課題

- ・ ALTが様々な活動で臨機応変に対応してくれたが、ALTのレクリエーションについても事前打ち合わせが必要であった。キャンプファイアの薄暗い明りの中で走るゲームを企画していたので、安全面が少し心配であった。明るさの調整、ゲーム内容の調整が必要である。
- ・ 参加児童は自然と英語を話したり、聞いて理解していたりし、英語に十分触れることができていた。英語を話す機会を意図的に増やすことで、児童はさらに英語に慣れ親しむことができると感じた。自分から英語を話すことができる力を高める活動や声掛けを行っていきたい。

「絵本 de SDGs」

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

絵本の読み聞かせを親子で行うことにより、子どもの感性を育むとともにSDGsについても関心をもってもらおう。

○ 実施期間

令和3年11月27日（土）10:00～12:00

○ 対象者・参加者数

高知県の小学生を含む親子 8組25名／20組40名程度（人数／定員）

○ 活動プログラム

時刻	内容
10:00	受付・はじまりの会
10:30	プログラム（「絵本 de SDGs」、「絵本 de ペーパーバック」）
12:00	おわりの会・解散

2. 活動の様子

最初のプログラムでは、絵本の読み聞かせをとおして、最近よく耳にするSDGsについて分かりやすく説明を行った。読み聞かせでは子どもだけでなく大人も真剣な眼差しで絵本へ向かっていた。中には、「絵本の素晴らしさを改めて感じた。絵本の内容に感情移入してしまった。」と涙ぐむ方もいた。

次のプログラムでは、読み聞かせをしてもらった絵本の表紙カバーを素敵なペーパーバックへアップサイクルした。子どもも大人も先程の絵本の話しながら黙々と制作に励んでいた。また、難しい作業は周りの友達同士で助け合う姿もみられた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・ 絵本カバー、すぐに捨ててしまうので気になっていたが、バックの作り方がわかってよかった。
- ・ 子どもと一緒にできるイベントが少なくなっていたので娘と2人の時間をもてうれしかった。
- ・ 絵本を改めて手にとり、ゆっくり見るいい機会となった。

○ 事業の成果

学校教育においてもSDGsについて学ぶ機会が増えているが、絵本をとおして“学ぶ”前の“知る”機会を提供することができ、SDGsへの興味関心をもたせることができた。

○ 事業の課題

参加者の満足度も高かったが、低学年女子児童に参加が偏る傾向にあるため、より多くの児童に絵本の大切さやSDGsについて知る機会となるよう広報の方法を再検討する必要があると感じた。

M キャンプ「ソロキャンプにチャレンジ！！～極寒！冬のテント泊～」

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

自然体験活動や集団宿泊体験を通して、青少年の自主性、協調性、社会性を育む。
また、野外炊事や火つけ体験を通して普段の生活に役立つ生活力を身に着ける機会とする。

○ 実施期間

令和4年12月18日（土）～19日（日） 1泊2日

○ 対象者・参加者数

小学4～6年生 19名

○ 指導者等

室戸ボランティアリーダー 10名

国立室戸青少年自然の家職員 4名（中谷、後藤、田村、松田）

○ 活動プログラム

	18日（土）	19日（日）
午前	9:30 高知方面送迎バス出発 （はりまや橋観光BT） 10:00 徳島方面送迎バス出発 （美波町由岐支所） 11:45 開会式 12:00 昼食（注文弁当）	6:30 起床・荷物整理 7:00 カートンドッグ 【Aグループ】 8:00 テント撤収等 9:10 シャワー浴（ロッジ） 【Bグループ】 8:00 シャワー浴（ロッジ） 8:50 テント撤収等 10:00 閉会式 10:15 退所・無料送迎バス出発
午後	12:30 アイスブレイク 13:00 班活動「班の旗をつくろう」 14:00 ソロテント設営・寝床準備・ライト設置 雨：決行 暴風雨：体育館 15:30 野外炊事（カレー）	12:45 はりまや橋BT到着・解散
夜	19:00 焚き火（火つけ体験） 20:00 ナイトハイク・星空観察 21:00 ふりかえり（焚き火） 21:30 就寝準備 ※入浴は翌朝	

2. 活動の様子

<1日目>



当日は、寒波の影響で最低気温が2度という状況で事業を実施した。文字通りの「極寒」ではあったが、子どもたちは積極的に活動に参加している様子であった。

仲間づくり活動である「班の旗づくり」の際には、「みんなで協力しよう」「ありがとうを言う」「楽しく活動しよう」などの意見が出ており、自分の意見を言う機会と、他の参加者の意見を聞く機会を通して、仲間意識が強くなっていく様子が見受けられた。

その後は、1人1張りのソロテントを同じグループで協力しながら設営しており、困っている人がいたら助ける参加者の姿も見受けられた。

<2日目>



早朝からの活動ではあったものの、全員時間内に起きて手際よく「カートンドッグ」を作っていた。

その後、大浴室での朝風呂では、声をそろえて「生き返る～」「最高」などの声があった。

3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・火起こしが楽しかった。
- ・春もキャンプをしてみたい。

- ・子供が中心となっていてよかったと思う。
- ・プログラムの構成が良かった。
- ・カレーなどをみんなで作って楽しかった。
- ・夜の焚火が楽しかった。
- ・またこのような事業に参加したい。
- ・家でバーベキューをする時は、井戸の井の形にして火起こしをしたいです。

○ 事業の成果

アンケートでは、火付けへの興味が非常に高く、野外炊事等の火を扱う場面では、全員で薪組の方法を考え、班内で意見交換をしながら試行錯誤を繰り返すことで、火の特性を理解している様子が伺えた。

また、学生ボランティアからは、自分の身の回りのことが手一杯だった参加者が、次第に周りの仲間への気遣いができるようになったこと、班旗づくりを通して一体感が高まったことに驚いたとの声があった。

○ 事業の課題

- ・夜のプログラムではナイトハイクをせずに、ふりかえり兼焚火の時間を増やして仲間との会話の時間を大切にしたいほうが、協調性、社会性を育める一助になったように感じた。
- ・テント設営が想定時間より大幅にかかったため、見通しが悪かった。

M キャンプ「水族館に泊まろう！」

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

自然体験活動や集団宿泊体験を通して、青少年の自主性、協調性、社会性を育む。また、水族館での飼育員体験や漁港での水揚げ見学を通して、地域の水産業を知るとともに多彩な職業観を育む。

○ 実施期間

令和3年12月26日（日）～12月27日（月）

○ 対象者・参加者数

小学4～6年生 29名／30名（人数／定員）

○ 活動プログラム

時刻	1日目（土）	時刻	2日目（日）
14：00	送迎バス（高知市内） 出発	6：00	起床・身支度
17：00	むろと廃校水族館 到着	6：30	朝食
	はじまりの会	7：00	体験⑥ 大敷網水揚げ見学
17：15	夕食	8：00	体験⑦ 水族館開館準備体験
17：45	体験① 水族館ガイド		体験⑧ 飼育員体験
	体験② イルミネーション見学	9：00	体験⑨ ウミガメ計測
	イルミネーション制作	11：00	昼食
19：45	体験③ イカ墨で年賀状作成	12：00	体験⑩ ウミガメ放流
	体験④ 水族館冒険ナイトツアー	12：15	おわりの会
21：30	宿泊準備	12：30	むろと廃校水族館 出発
22：00	体験⑤ 水族館でお泊り（就寝）	15：30	送迎バス（高知市内）到着

2. 活動の様子

< 1日目 >

水族館の閉館後に集合し、夕食からの開始となった。夕食後は、館長による水族館ガイドが行われた。その後は、次の日から点灯予定の年末年始イルミネーションの制作を班毎に行い、予定時間を超えても黙々と作業する姿がみられ、無事に点灯させることができた。

その後は、2チームに分かれ、コロナ禍でなかなか会えない人へイカ墨で年賀状を書いたり、冒険ナイトツアーを行った。参加者の中には年賀状を書いたことがない人もおり、日本の年賀状文化へふれる良い機会となった。ナイトツアーでは、最初に見た昼間の海洋生物の様子と夜の様子を見比べた。狭い場所に挟まって寝るウミガメの様子など日頃は見ることのできない貴重な発見をした。最後は、水槽のまわりに寝袋を敷いてウミガメや魚たちと一緒に就寝した。



<2日目>

夜中に目が覚めてウミガメや魚に驚いた参加者もいたようだ。朝は起きたら寝袋を撤収し、朝食にはサバ味噌の大きな漁師おにぎりを食べて2日目が始まった。おにぎりを食べながら漁の様子を聞き、水揚げのタイミングを見計らって漁港へ地元大敷網でとれた魚の水揚げ見学へと移動した。大迫力の水揚げを見ながら、水揚げされた魚の説明をもらった。

水族館に戻ってからは開館準備でエサを切って魚にあげたり、水槽や館内の掃除をしたりと飼育員体験を行った。水族館の日頃は見えない裏の仕事を体験できた。

その後はウミガメの甲羅をノギスを使って計測を行って、記念手ぬぐいに記録した。そして、最後は皆で砂浜から放流してお別れをした。

お昼ご飯は、朝に水揚げされたばかりの新鮮な魚の刺身を食べて、2日間の振り返りをして解散した。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・ 魚の特徴やエサの食べ方を知れた。
- ・ 普段できないことができてすごく楽しかった。
- ・ イルミネーションが楽しかった。
- ・ 水族館に泊まる貴重な経験ができた。
- ・ 魚の詳しいことやいろいろなことを知れた。



○ 事業の成果

- ・ コロナ禍、また年末の開催であったが、大変多くの応募があり、日頃は経験することのできない水族館に泊まるという体験活動の提供することができた。
- ・ 事業をとおして、水揚げ見学では、見るだけでなく、室戸ならではの敷網漁業についてや漁業に携わる職人との交流、水族館での飼育員体験などで多彩な職業観を育む環境づくりができた。
- ・ 班での活動を基本とし、様々なプログラムをとおして、1泊2日という短い時間でも班のメンバーと協力する姿勢がみられた。

○ 事業の課題

- ・ 水揚げ見学については、漁の状況によって時間が大きく前後するため、起床時間を早めるなどして朝食時間を十分に確保する必要があると感じた。
- ・ 就寝場所を選ぶ際に、ウミガメ水槽など人気の水槽周りで場所取りが生じたため改善が必要だと考える。
- ・ 大変多くの応募があったため、引き続き地域と連携しながらより多くの体験を提供する必要があると感じた。

全国一斉書き初め大会(試行事業)

お正月を遊びつくせ！書き初めキャンプ



1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

書き初めや凧揚げ・かるた遊びといった正月の文化、風習に触れ、日本の伝統についての関心を深める。

○ 実施期間

令和4年1月8日(土)～9日(日) 1泊2日

○ 対象者・参加者数(人数/定員)

徳島県南部～高知県在住小学生4～6年生 27名/30名

○ 活動プログラム

1月8日(土)	1月9日(日)
9:00 送迎バス 出発	6:30 起床・清掃
12:00 開講式	7:30 朝のつどい
12:20 昼食(食堂食)	7:45 朝食(食堂食)
13:20 アイスブレイク	退所点検
14:00 凧作りと凧揚げ	9:00 書き初め会
16:00 昔遊びラリー	10:30 巨大年賀状作成
17:00 タベのつどい	12:00 昼食(食堂食)
17:15 夕食～正月料理を食すぜよ	13:10 閉講式
19:00 落款を篆刻しよう	13:30 送迎バス 出発
21:00 入浴・就寝準備	
22:00 消灯・就寝	

2. 活動の様子

<1日目>

高知県内の4～6年生27名が参加した。大学生ボランティアリーダーによる自主企画であり、その運営のほとんどをリーダー5名が行った。昼食後、アイスブレイクをしたのち、班に分かれて凧作りを行った。初対面でお互い緊張していたが、時間の経過とともに協力して制作する様子が伺えた。グラウンドで凧揚げを行った。風が弱く、凧を高く上げるのには苦戦したが、参加者全員一生懸命走り、より高く上げようと競い合っていた。その後、6つの昔遊び(コマ回し・お手玉・けん玉・ダルマ落とし・折り紙・竹馬)を体験した。予想以上に盛り上がり、時間を忘れて熱中していた。夕食は、お正月料理(特別食)を堪能した。食堂の店長さんから、地元の食材や伝統の調理方法について説明があり、関心が高まる様子が伺えた。夜は、消しゴムハンコ作りを行った。なかなか

か思うようにいかず、戸惑う場面も見られたが、班員で相談したり、ボランティアリーダーや職員
のアドバイスを受けながら全員作成できた。



<2日目>

朝のつどいには、全員元気に参加した。その表情からは、昨日の満足感とともに、本日のプログラムへの期待感と、仲間づくり（リーダー含む）がうまくいっていると感ずることが出来た。書き初め大会では、半紙で練習した後、色紙に清書して、昨日作成した消しゴムハンコを押印して完成させた。それぞれが創意工夫し、思いの詰まった作品となった。巨大年賀状作成では、班員がそれぞれの意見を出し合い、相談し、構成を考えた。意見のぶつかりもありながら、譲り合い、調整していく中で、それぞれの班で素晴らしい作品を作り上げた。ボランティアリーダーの発案で、鮮やかな色彩の霧吹きを用い、それぞれの作品にさらなる魅力を加えた。巨大年賀状と一緒に撮った集合写真は、後日、参加者全員に年賀状として送付した。参加者はもちろん、保護者からも御礼をいただき、改めて参加者の思い出に残る事業になったことを実感できた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想 アンケートの満足度は100%

- ・昔遊びが体験できてよかった。
- ・凧揚げが楽しかった。
- ・巨大年賀状制作がみんなと協力出来て楽しかった。など

今回の事業において、27名中19名が過去に室戸自然の家の事業に参加したことがあり、アンケートの中には、「何回来てもいつも楽しい」という内容がたくさんあった。これまでの事業の内容やボランティアとのかかわりに対して高評価されていることを誇りに思う。なお一層精進したい。

○ 事業の成果

- ・「書き初め」に精通している職員がおらず、戸惑いはあったが、外部（ボランティアリーダー）の連携することで、良い事業になった。
- ・「書き初め」に限定するだけでなく、正月遊びや、正月料理をテーマとして事業に組み込むことでより充実した内容になった。

○ 事業の課題

- ・日程について、参加希望は33名であったが、コロナ禍における学校行事や部活動の大会の変更で、不参加を余儀なくされたものがいた。冬休みの日程を考慮して計画する必要がある。
- ・今回は、ボランティアリーダーの中に、書道に精通した人材がいたので事業が成立したが、その他の場面でも外部の人材（地域の人など）を活用すれば、さらなる事業の発展が期待できる。昔遊びに地元の人に参加を呼び掛ける、書道に関しても高校（大学）の書道部や、地域の指導者と連携するなど、地域を巻き込んだ事業を展開できるよう計画していきたい。

令和3年度夏休みファミリープログラム

1. 概要

- 令和3年8月7日（土）～9日（月） 2泊3日
- 対象者・参加者数
高知県在住の小学生（3年生以上）を含む家族 4家族15名
- 指導者等
国立室戸青少年自然の家職員 6名（森木、中谷、佐藤、豊田、西田、松田）
- 活動プログラム

8月7日	15:00	16:00	19:30	20:30
		◆開会式	◆野外炊事 (カレー)	◆昆虫探し(準備) 虫トラップ設置

8月8日	7:15	9:00	11:30	13:00	17:30	20:00	20:30
	つどい 朝食(食堂)	◆昆虫探し! ☂昆虫標本づくり	昼食 (お弁当)	◆磯観察 ☂室戸見学ツアー ・ジパークセンター ・廃校水族館 ・鯨館	つどい 夕食(食堂)	☆星座観察 ☂中止	入浴 就寝

8月9日	7:15	9:15
	つどい 朝食(カートドッグ) 退所点検	◆閉会式

2. 活動の様子

<1日目>

研修支援の位置づけで、同宿泊する複数の団体を対象に同一のプログラムを体験していただいた。

家族ごとに野外炊事でカレー作りをした際に、保護者より「普段、家ではせんのに～」など子どもが調理する姿を見守る様子がうかがえた。また、夜間に昆虫を捕えるための「昆虫トラップづくり」では、ペットボトルで簡易に作るものではあったが、子どもから「カブトムシはいるといいな～」などの期待の声が集まった。



つけると、大喜びする子どもたちの様子が伺えた。

磯観察では、家族ごとに小さな網を片手に小魚や、ヒトデなどを捕まえて楽しそうな様子が伺えた。

当日は気温が高かったため、磯観察は予定時刻より早めに切り上げ、荒天時プログラムのジパークセンター及び鯨館の見学に訪れた。特に、鯨館ではVR体験（鯨漁の映像）では、初めて体験する子どもたちが多く、大好評であった。



< 3日目 >

最終日は、カードッグづくりに挑戦！はじめてする子どもたちが多く、おいしく焼きあがるかを楽しみにしている様子が伺えた。

パンをアルミホイルで巻く作業が難しかった様子であった。



3. 活動の成果と課題

○ 成果

- ・ 少人数の家族利用では人数によってできない活動も、複数団体集まることで実施が可能となり、利用者の体験の幅が広がった。

○ 課題

- ・ 本件は、職員負担軽減のために複数団体で統一したプログラムのを実施いただいているが、プログラム内容によっては、職員負担が増える可能性もあるため、実施する際は、都度プログラム内容を検討し、職員の負担と利用者の体験の比重を検討する必要がある。

防災キャンプ in 室戸

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

南海トラフ巨大地震を想定しながら様々な体験活動を行うことで、地震や津波についての知識をもったり、自分たちにできることを考えたりし、自助・共助の力を育む。

○ 実施期間

令和3年9月18日（土）～令和3年9月20日（月・祝）2泊3日

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

小学4年生から6年生までの児童（13名／20名）

○ 活動プログラム

9/18（土）	9/19（日）	9/20（月・祝）
9:30 はりまや橋観光バスターミナル発	6:00 起床・洗面	6:00 起床・洗面・清掃
12:00 ジオパークセンター着	6:30 災害時に役立つアウトドアクッキングⅠ （カートンドッグ）	7:00 朝食（食堂）
12:10 昼食（弁当）	9:00 備蓄倉庫見学	9:00 学習のまとめ
12:40 ジオパークセンター見学	9:30 避難所運営ゲームHUG	11:00 成果発表
13:40 起震車体験	11:15 防災グッズ作り	12:00 昼食（食堂）
14:40 南海トラフ地震・津波学習 講師：室戸世界ジオパークセンター 中村専門員	12:00 昼食（食堂）	13:00 閉講式
16:10 自然の家へ移動	13:00 防災バックの中身について考えよう	13:30 自然の家発
17:00 防災食試食体験 （マジックライス）	15:00 防災時に役立つアウトドアクッキングⅡ （カレー、ハイゼックス）	16:00 はりまや橋観光バスターミナル着
20:00 振り返り 無水シャンプー体験	20:00 振り返り	
21:00 就寝 （防災研修棟でライフラインが遮断された生活体験） レスキューシート	21:00 就寝（宿泊棟で就寝）	



2. 活動の様子

< 1日目 >

SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」に関連し、災害による被災者を減らすということ、今回の事業の目的である「自助・共助」について考えていくことを、開講式で児童に伝え、事業を開始した。初日は「地震・津波の基本的な知識」と「災害、被害の様子を知ること」の2点を中心にプログラムを計画した。

「地震・津波の基本的な知識」については、室戸ジオパークセンターと連携し、館内ガイド、地震・津波学習を行った。館内ガイドでは、高知県沖の南海トラフを3Dメガネで体感したり、地震探知機について説明をしてもらったりするなどしながら知識を深めた。地震・津波学習では、中村地理専門員の講義により、地震の仕組みや室戸大地に成り立ちについてクイズ形式で楽しみながら

学んだ。

「災害、被害の様子を知ること」に関しては、まず起震車体験を行った。震度7を初めて経験する児童もあり、「怖かったし、動けなかった」という感想が多く、地震の怖さや揺れの強さを実感することができた。自然の家に到着した後、東日本大震災の津波の様子や被害の様子をDVDで視聴し、被災者の体験談を聞いた。児童たちは集中して、画面を見たり、話を聞いたりし、災害の怖さや被害の大きさ、生活の困難さを感じていた。

夕食では防災食体験を行い、お湯だけでごはんができることに驚く児童がいた。またお湯でごはんができることはすごいけど、家のご飯の方がおいしいという意見もあった。普段の生活が恵まれていることに気付いたり、防災食だと自分の満足いく量が食べられないということにも気付いたりしていた。

夜は防災研修棟にて、電気や水といったライフラインが遮断された状態での避難所体験を行った。懐中電灯のみで生活したが、実際に懐中電灯の電池が無くなってしまった児童もあり、友達に照らしてもらいながら就寝準備をしていた。電気の大切さを知るとともに、互いに協力しながら生活することができていた。初日は濡れタオルで体を拭き、無水シャンプー体験をした後、レスキューシートに身を包んで眠りについた。



<2日目>

6時に起床し、防災研修棟の前でカートドッグ作りに取り組んだ。児童はアルミホイルで食材を包み、牛乳パックに入れて焼くだけで、簡単にホットドックができることに驚いていた。

朝食後は、備蓄倉庫への見学に向かった。所内に防災備蓄倉庫が設置されており、中にどのようなものがあるのか調べた。非常食はもちろん、ガスコンロや毛布などたくさんの備えがあることに気付くことができた。

「避難所運営ゲームHUG」では、避難者や条件に合わせて自分たちで避難所の運営について考えた。意見がまとまらないときもあったが、班で協力しながら考えることができていた。

「防災バックの中身について考えよう」では、自分で必要だと思うものを考えた後に、友達の意見を聞いたり、実際の防災バックを持って重さを確認してみたり、中身を確認したりした。活動前と後で意見の変わる児童もあり、自分なりに必要なものを考えることができていた。

夕方の野外炊事では、ジッパー付袋でカレーをつくり、ハイゼックス炊飯でお米を炊いた。新型コロナウイルスにも配慮し、各自1人1人で簡単に調理できるレシピにした。ハイゼックス炊飯では炊きが甘く、硬いご飯になったところもあった。また、新聞製の皿にビニールをかけた食器を使ってみたが、普段の食器とは違い、うまく食べられなかったり、お皿が倒れたりした。不便なことが多い野外炊事であったが、普段の生活との違いやありがたさに気付くことができた。

2日目は宿泊棟に泊まることで、初日の生活との違いを実感し、布団や電気があることのありがた

たさを感じることができた。



<3日目>

最終日は、2日間の防災生活を振り返り、各班で成果を模造紙にまとめた。防災生活を「自助」「共助」の項目に分け、自分の考えを出し、班で意見を共有しながら仕上げた。「自助」では、自分が避難すること、防災バックの中身を準備する必要性についてまとめられていた。また、「共助」では、互いに助け合うことの大切さや、役割分担をする大切さにも気付くことができた。

感想には「自分でできることは自分でやる」「みんなで協力する」というような意見や、「失敗もあったけど楽しかった」「家で防災バックを準備したい」という意見もあった。

作成した模造紙は、室戸世界ジオパークセンターに掲示をしてもらっている。今回の事業を通して、今後発生すると予想される南海トラフ地震に向けて自分なりの対策や準備をしてほしいと願っている。また、家族や友達にも学習したことを発信しながら、共助についても意識を高めてほしい。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・体験的な学習でとても分かりやすかった。
- ・学習したことを生かして、家（家族）を守るために実践していきたい。
- ・地震について知ることができた。
- ・いつも電気や水、ガスを使うことを当たり前にしてきたけど、使えなくなるとありがたみが分かった。
- ・防災食の味や作り方を知ることができた。
- ・津波を確認してから避難するのでは遅いということが分かった。
- ・メタルマッチ、カートンドッグ作りが楽しかった。

○ 事業の成果

- ・起震車体験や地震・津波学習、東日本大震災 DVD 視聴等により、地震の被害の大きさを知り、防災学習を行う必要性を感じた上で学習することができた。

- ・活動をたくさん取り入れたことで、児童たちは様々な経験をし、家に帰って実際に取り組んでみたいことや、被災した時の対応について学ぶことができていた。
- ・活動や生活の中で、自分がどう行動すればよいか、みんなとどう助け合うかについて考えさせることにより、自助・共助の意識をもつことができるようになった。

○ 事業の課題

- ・配布したペットボトルの水量の調整や懐中電灯使用の有無などについて見直し、さらに実際の避難所を近づいた体験を行いたい。
- ・今後は新しい活動を取り入れながら、さらに防災意識が高まるような事業を展開していきたい。

室戸においでよ！家族 DAY！！

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

高知県東部地域及び徳島県南部地域の豊かな自然・歴史・文化を体験する活動、宿泊体験、世代間交流などを通して、青少年のチャレンジ精神、創造性、社会性を育む。

○ 実施期間

令和3年10月23日（土）～10月24日（日）

○ 対象者・参加者数

高知県の小学生を含む家族 26家族83名／40家族120名（人数／定員）

○ 活動プログラム

時刻	1日目（土）	時刻	2日目（日）
13:00	宿泊受付	7:15	朝のつどい
14:00	開会式・オリエンテーション	7:30	朝食（食堂食）
15:00	子ども体験遊びリンピック （記録に挑戦してメダルを狙おう）	8:45	退所点検
17:30	夕べのつどい	9:30	日帰り受付
17:45	夕食（食堂食）	10:00	ブース体験プログラム クラフト:竹細工、流木クラフトなど 体験:タッチプール、草スキーなど
18:00	入浴（浴室棟）	11:30	昼食（食堂食）
19:30	夜間プログラム （焚火体験&星空観察）	14:00	終了
22:00	就寝		

2. 活動の様子

<1日目>

参加者は開会式や入所オリエンテーション後、体育館で“室戸ボランティアリーダー”が企画・運営する「子ども体験 遊びリンピック」で様々なゲームを家族で楽しみながら、好記録を目指して挑戦した。たくさんの家族の参加があり、子どもだけでなく大人も童心にかえり真剣に子どもと勝負する姿もみられ、盛況のうちに終了した。

夕べのつどいにて国旗・所旗の降納などを行い、その後は、感染症対策のため時間を区切り、家族毎に夕食を楽しんだ。

夜間プログラムでは天体望遠鏡を使って月や星の観察を行ったり、焚火を囲みながら参加者間の交流を深めた。同時に室戸市の花火大会も開催されており、普段見ることのない山の上から、花火を鑑賞した。終了時間直前まで星空観察や焚火を楽しんだ。



<2日目>

朝のつどいから2日目が始まった。朝のつどいでは保護者の方々から「何十年ぶりにラジオ体操をして、こんなに清々しい朝は久しぶりだ」との感想も聞こえた。

日帰りの参加者も合流し、開会の号砲が自然の家に鳴り響きブース体験プログラムが始まった。所内に各所に設けられたブースにて様々なアクティビティを参加者に自由に楽しんでもらった。普段、自然の家で提供しているアクティビティや、タッチプールでの魚との触れ合い、“室戸ボランティアリーダー”の企画ブースや室戸市内のキラメッセ室戸鯨館、室戸ジオパーク推進協議会、室戸ドルフィンセンター、むろと廃校水族館の出張ブースを楽しんでもらった。

草スキーでは大人も子どもも泥まみれになりながら滑走する姿がみられた。また、様々なクラフト活動では真剣な眼差しで制作する姿がみられた。

併せて各ブースでスタンプラリーを実施することで各参加者にたくさんブースを回ってもらった。また、気に入ったブースで繰り返し体験する参加者もあり、中々スタンプがたまらないようであった。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・ 色々な活動ができてうれしかった。
- ・ コロナで泊りとかできなかつたからうれしい。いろんなゲームと焚火がすごかつたのしかつた。
- ・ 家族といっしょに楽しめたので、今度は友達ときてみようと思つた。
- ・ 家では絶対にできないことを経験できました。
- ・ 発達障害、5年生男子思春期と難しいですが、イベントを通して親子でゆっくり過ごせました。
- ・ 自由に家族単位でまわられたのでコロナも気にせずまわられてよかつたです。
- ・ 自然にふれることができました。大学生の方に遊んでもらうことを子どもは喜びます。

○ 事業の成果

- ・ コロナ禍での開催であつたが、事前申込で宿泊及び日帰り定員を設定しての開催とすることで安心して参加してもらふことができた。
- ・ 事業をとおして、家族単位での活動により、家族内の交流が多くでき、家族の仲が深まつたと活動の様子やアンケートから感じた。
- ・ 子ども体験 遊びリンピックを同時開催することで体験活動推進の啓発ができた。

○ 事業の課題

- ・ 全体験ブースをまわりきれない子どもが多くみられたため、体験ブースの精査が必要と感じた。
- ・ 宿泊利用希望者が多かつたため、感染防止対策を徹底したうえで募集人数の増加を検討したい。
- ・ 広大な施設内で体験ブースが分かりにくいとの指摘もあり、案内板の増設を検討したい。

生き物ウォッチング 2021 in 室戸ユネスコ世界ジオパーク

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

室戸に生息する野生動物の調査・観察を行う活動をとおして、生き物への興味関心を高め、主体的に学ぶ力、観察する力を育む。

○ 実施期間

令和3年11月13日（土）～令和3年11月14日（日）1泊2日

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

小学生、未就学児とその保護者

7家族 18名／定員20名

○ 活動プログラム

11月13日〔土〕 晴れ	11月14日〔日〕 晴れ
13:00 室戸世界ジオパークセンター集合(所バス)	6:00 起床
13:10 オリエンテーション	6:40 ネズミトラップの確認・観察・片付け
13:25 室戸ジオパークを見学・動物カメラの説明	7:45 朝食
15:00 動物カメラの設置	8:30 清掃・点検
16:00 ネズミトラップの設置	9:10 動物カメラの回収
17:00 配宿・入所オリエンテーション	10:10 カメラ映像の確認
17:45 夕食	10:40 生き物のお話
18:30 ナイトハイク	11:10 振り返り・スタッフ挨拶・アンケート記入
20:00 ネズミトラップの見回り	11:25 解散
20:30 入浴	11:30 自然の家発(所バス)
21:30 就寝	

2. 活動の様子

< 1日目 >

室戸世界ジオパークセンターにて行われたオリエンテーションでは、参加者とスタッフが自己紹介と、自分の好きな生き物について紹介した。その後のジオパークの説明では、参加者は室戸の海底の地形についてインストラクターの説明を受け、また3Dマップを用いて学習した。参加者は室戸沖の海底の急激に深くなる地形に驚き、その他にもセンター内の室戸の文化や特産品の展示に興味を引かれていた。

次に、動物の観察のために使用するカメラの説明を聞き、自然の家内の冒険の森にてカメラの設置を行った。参加者たちは谷地森先生の説明をもとに、生き物が通りそうな場所をそれぞれに考えながら、カメラを設置していった。カメラを設置する際、どこの樹木にどのように設置すれば動物を撮影することが出来るかを子どもたちが真剣に考え、親子で相談している姿を見ることが出来た。

その後は草スキー場まで移動し、ネズミトラップについて谷地森先生から説明を受け、トラッ

プの設置場所を決定した。先生から、「今年は万全を期すために1人分のトラップを2個にしました。去年に比べて捕獲確率は倍です。」という言葉もあり、参加者は期待を膨らませながら思い思いの場所を先生に伝え、設置してもらった。

夕食後は、ナイトハイクを実施し施設内の夜の姿を感じながら歩いた。昼間は晴れていたものの、夜になると雲が出てきて星空を観察することは出来なかったが、夜の虫や生き物の声などを聴きながら、参加者たちは普段は出来ない夜中の散策を楽しんでいるようだった。



<2日目>

2日目は早朝より、ネズミトラップの確認を行った。今年も残念ながらトラップにはネズミはかかっておらず、参加者は落胆した様子を見せていた。それでも参加者たちは研修棟の周りで鳥や虫を探しに散策したり先生の動物の説明を聞いたり、それぞれ主体的に生き物について触れ合う意欲を見せていた。

朝食・部屋の片付けを終えた後、今度は動物カメラの回収を行い、映像の確認を行った。家族ごとに設置したカメラの内、イノシシやタヌキの姿が映っているものがあり、動物の姿が映った時には参加者からは大きな歓声が上がっていた。

その後には、谷地森先生が四国の各地で撮影したクマやシカなどさまざまな生き物の映像が紹介された。映像には撮影のためにカメラ前に吊るされている餌のハチミツを何とかして取ろうとするクマの映像もあり、参加者からは興奮の声も上がった。

生き物のお話では、四国内で観察された生き物の写真やその種類などが紹介され、参加者たちはネズミなどのよく知られる生き物の種類の多さや、初めて見る種類の特徴的な姿に驚いているようだった。

スタッフの挨拶の後、来年こそはネズミと捕まえたいという参加者同士の触れ合いがありながら、プログラムは終了した。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・友だちがふえた。またらい年もみんなきてほしい。
- ・生き物ウォッチングは、いろいろ生き物をさわれたのでたのしかった。
- ・初めての参加でしたが、参加して良かったなあと思いました。来年もぜひ参加したい！！と思いました。子供達も楽しんでいましたし、貴重な体験を本当にありがとうございました。
- ・今年2回目の参加でしたが、本当に楽しいイベントでできれば毎年、毎季節参加できたらなあと思います。スタッフの皆さんありがとうございました。

○ 事業の成果

- ・最初は周りとあまり関わらなかった子どもが、他の参加者の子どもと仲良くなり、子どもたち同士で自主的に生き物を探しに散策したり、遊んだりする姿など子どもたちが主体的に活動し、成長していく姿が多く見られた。
- ・動物カメラやネズミトラップを設置する際に、参加者がどの位置に設置すればよいか、どのように設置すればよいかを、谷地森先生に質問して家族皆で考えて設置することで、家族の絆が深まっていく姿が見えた。

○ 事業の課題

- ・動物カメラ・ネズミトラップ共に、設置する際にどんな生き物が見つかる可能性があるか、あらかじめ写真付きのリスト等を作成して参加者に提示すれば、参加者の意欲が増し、イメージが明確になると思われる。
- ・万が一、動物カメラ・ネズミトラップで全く成果が出なかった場合を考えて、可能であれば自然の家で捕獲できる動物（カナヘビやミミズ等）を事前に捕獲しておくことが出来れば、動物を全く観察することが出来なかったという結果を回避することが出来るのではないか。
- ・ここ2年連続でネズミを捕獲することが出来ていないため、ネズミトラップの設置場所について、谷地森先生と相談する必要があるのではないか。

「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

子どもたちの健やかな成長をうながすための基本的な生活習慣の確立に向けた普及啓発。

○ 実施期間

令和3年5月24日（月）～令和4年2月9日（水） 全7回実施

○ 対象者・参加者数

室戸市内外の保育園及び小学校 全7団体 総数224名（子供109名／大人115名）

○ 活動プログラム

- ・ 絵本の読み聞かせ (10分程度)
- ・ 早寝早起き朝ごはん〇×クイズ (5分程度)
- ・ 早寝早起き朝ごはんダンス (10分程度)
- ・ 記念撮影 (5分程度)



2. 活動の様子

最初は絵本の読み聞かせから始まった。みんな真剣な眼差しで読み聞かせを聞いていた。その後は、〇×クイズをして、最後には合言葉の「早寝！早起き！朝ごはん！」をみんなで元気に唱えると、「はやおきくん」や「よふかしおに」の着ぐるみが登場して、一緒にダンスを踊った。



その後は、資料を用いて保護者向けの説明会を実施して保護者の皆様に対しても重要なポイントなどを説明した。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・ 読み聞かせやダンスなどあって楽しく参加することができました。
- ・ 乳児期から早寝早起き朝ごはんの大切さを改めて感じた。
- ・ 話ばかりでなく着ぐるみも来てくれて、親子でダンスを楽しむことができた。
- ・ 参観として保護者に早寝早起き朝ごはんの大切さや生活のリズムをつける大切さを振り返られた。
- ・ 普段見られない着ぐるみが来てくれたので子どもも楽しめたと思います。

○ 事業の成果

ダンスや着ぐるみで楽しく啓発することで、子どもたちも後日、自然の家へ遊びに来てくれた際は、合言葉を元気よく唱える姿がみられた。また、資料を用いて保護者への説明や朝ごはんのポケットレシピを配布することで少しでも各家庭のお手伝いができると思う。

○ 事業の課題

新たな保育園や小学校での実施及び継続的な実施により、さらなる普及啓発が必要であると考えます。

くろしおいっしょにあそぼう通信

1. 事業の概要

○『くろしお』いっしょにあそぼう通信

『くろしお』いっしょにあそぼう通信は、高知県東部地域と徳島県南部地域に暮らす人たちが主催する青少年向け体験活動事業を集めた情報誌である。この情報誌の特徴は、様々な団体が主催する事業を1つの情報誌に取りまとめ、参加申込の手続きを事務局がすべて行ったところである。

○実施期間

令和3年10月～令和4年2月

○対象者

高知県東部地域から徳島県南部地域の家庭及び青少年

○実施事業

- ・イルカの飼育員お仕事体験
- ・ネイチャーゲームと藍染体験
- ・甫喜ヶ峰フェスティバル 2021
- ・室戸「漁船に乗船していざ深海生物漁業体験」

2. 応募状況

室戸「漁船に乗船していざ深海生物漁業体験」

- ① 期 日 令和4年1月15日（土）
- ② 開催場所 佐喜浜港
- ③ 対 象 小学生以上（ペア参加のみ）
- ④ 参加人数 8人/8人 ※希望者多数につき、別日程を設定

室戸「イルカの飼育員お仕事体験」

- ① 期 日 令和3年10月3日
- ② 開催場所 室戸ドルフィンセンター
- ③ 対 象 小学生～大人
- ④ 参加人数 10人/8人 ※定員超過だったが受け入れてくれた。

室戸「ネイチャーゲームと藍染体験」

- ① 期 日 令和3年10月31日
- ② 開催場所 国立室戸青少年自然の家
- ③ 対 象 どなたでも
- ④ 参加人数 34人 ※藍染体験では、地元の中学生在が2名参加した。

成果と課題

○成果

- ・今年度新たに掲載協力を頂けた団体があった。
- ・チラシの余白部分を使い、掲載団体の募集及び他機関紹介を行うことができた。

○課題

- ・新規掲載協力団体の確保。
- ・参加者の声が反映された広報誌を作成し、より多くの方へ体験活動を普及する必要がある。
- ・10月～2月を、7月～2月に開催期間を広げ、多くの団体に参加してもらう。

管理運営報告

1. 職員の主な研修・講習等

- 「新任職員研修」 令和3年4月1日
(新規採用職員、人事交流職員及びその他の職員対象/4名参加)
 - ・ 所の概況、実施事業及び利用者受入業務の内容説明、実践を重視した基礎的研修

- 「救急救命・AED講習会」 令和3年4月23日実施(9名参加)
 - ・ 室戸市消防署職員による講義及び実践練習

- 「熱中症予防対策講義」 令和3年4月13日実施(18名参加)
 - ・ (株)大塚製薬工場職員による講義

- 「大規模災害時における被災者受入れ等の講習」 令和3年10月19日実施(18名参加)
 - ・ 室戸市防災対策課による講習

- 「避難・消火訓練」 令和3年11月1日(18名参加)
 - ・ 室戸市消防署職員の立ち合いのもと、夜間の火災発生を想定した宿直者及び警備員を対象とした訓練を実施後、消火器を使つての初期消火の訓練を実施

2. 令和3年度国立室戸青少年自然の家運営協議会

【第1回】

日 時 令和3年6月22日(火) 新型コロナウイルス感染防止等のためメール会議にて開催

【第2回】

日 時 令和4年3月9日(水) 新型コロナウイルス感染防止等のためメール会議にて開催

3. 栄典関係

当施設研修指導員の百々淑子氏が、昭和51年から今日まで46年間の長期にわたり、野外炊事、茶摘み、追跡ハイキング及びピースマップツアー等の野外活動における指導・助言等、様々な活動を通して青少年の健全育成に尽力され、社会教育の振興に多大な貢献をされた功績により、令和3年11月5日に文部科学大臣から社会教育功労者表彰を受けられた。

百々淑子氏 略歴

昭和51年 国立室戸青少年自然の家ボランティア指導員
平成13年 独立行政法人国立青少年自然の家国立室戸青少年自然の家ボランティア指導員
平成18年 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立室戸青少年自然の家指導員
平成22年 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立室戸青少年自然の家研修指導員

4. 施設整備（主なもの）

○照明 LED 化

食堂前ホールの LED 照明改修工事を行った。

中庭の LED 照明改修工事を行った。

○体育館外壁躯体改修工事

体育館外壁周りの爆裂損傷が著しく、躯体改修工事を行った。

5. 施設設備（主なもの）

○マリン用品の充実

利用者が安心・安全に海の活動を行えるよう、海活動を行う際の貸し出し用スリッパを購入した。

○パウチの購入

活動の充実のため、パウチ 1 台を購入した。

広報活動

広報活動としてイベントブースを出展したり、出張指導を行ったりして施設のPRを行った。

日付	内容	場所	人数
4月13日(火)	幼児期の運動プログラム	田野町立田野幼稚園	51人
5月11日(火)	幼児期の運動プログラム	田野町立田野幼稚園	63人
5月14日(金)	防災参観日 佐喜浜小学校	室戸市立佐喜浜小学校	21人
5月24日(月)	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊	元保育所	20人
5月24日(月)	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊	吉良川公民館	21人
5月27日(木)	幼児期の運動プログラム	田野町立田野幼稚園	62人
6月8日(火)	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊	田野町立田野保育所	62人
6月13日(日)	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊	むろと保育園	25人
6月14日(月)	幼児期の運動プログラム	田野町立田野幼稚園	62人
6月23日(水)	「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊	佐喜浜保育所	20人
6月25日(金)	出前講座 「スノーケリング体験」	海陽町立穴喰小学校	36人
7月26日(月)	幼児期の運動プログラム	田野町立田野幼稚園	62人
8月10日(火)	幼児期の運動プログラム	田野町立田野幼稚園	62人
9月30日(木)	タッチプールカー体験	高知キッズイングリッシュガーデン	30人
10月24日(日)	室戸においでよ!家族DAY!!	国立室戸青少年自然の家	85人
11月14日(日)	甫喜ヶ峰フェスティバル2021	甫喜ヶ峰森林公園	53人
11月27日(土)	絵本 de SDGs	オーテピア高知図書館	25人
12月26日(日)	ブース出展 むろとまるごと産業まつり	室戸市防災公園	160人
1月18日(火)	幼児期の運動プログラム	田野町立田野幼稚園	62人
1月18日(火)	「早寝早起き朝ごはん」キャラバン隊	大谷保育所	49人
2月1日(火)	幼児期の運動プログラム	田野町立田野幼稚園	62人
2月9日(水)	「早寝早起き朝ごはん」キャラバン隊	菜生保育所	27人
2月17日(木)	幼児期の運動プログラム	田野町立田野幼稚園	62人
計 23 回			計 1,182 人



高知イングリッシュガーデン 出前



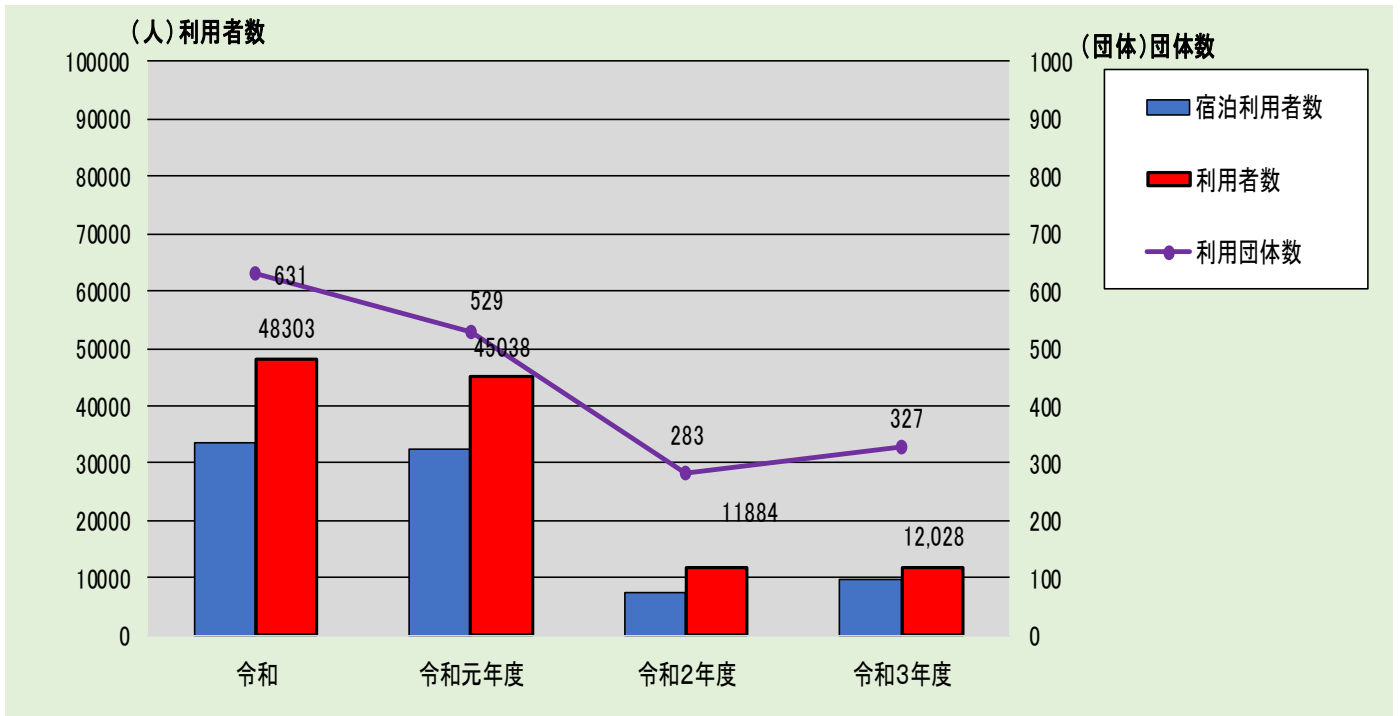
子どもゆめ基金 20周年記念事業
「絵本 de SDGs」



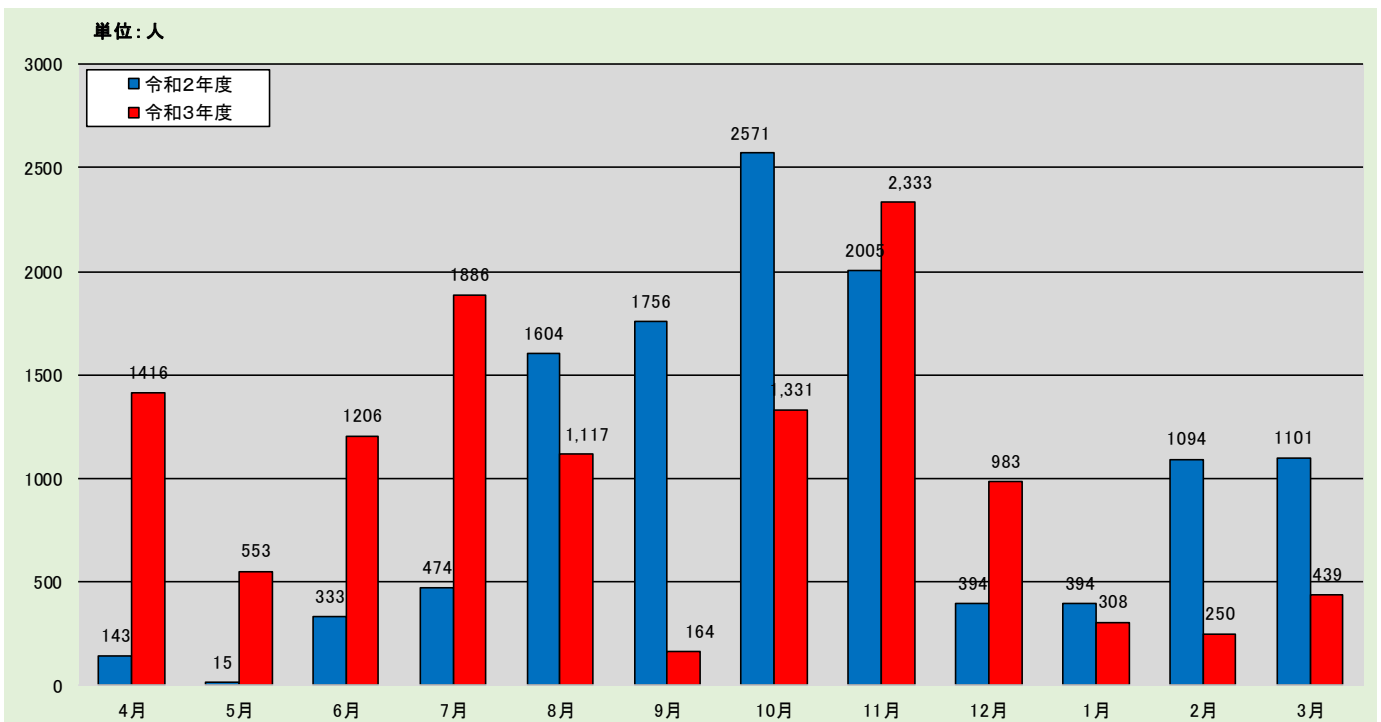
「早寝早起き朝ごはん」むろとキャラバン隊

利用実績

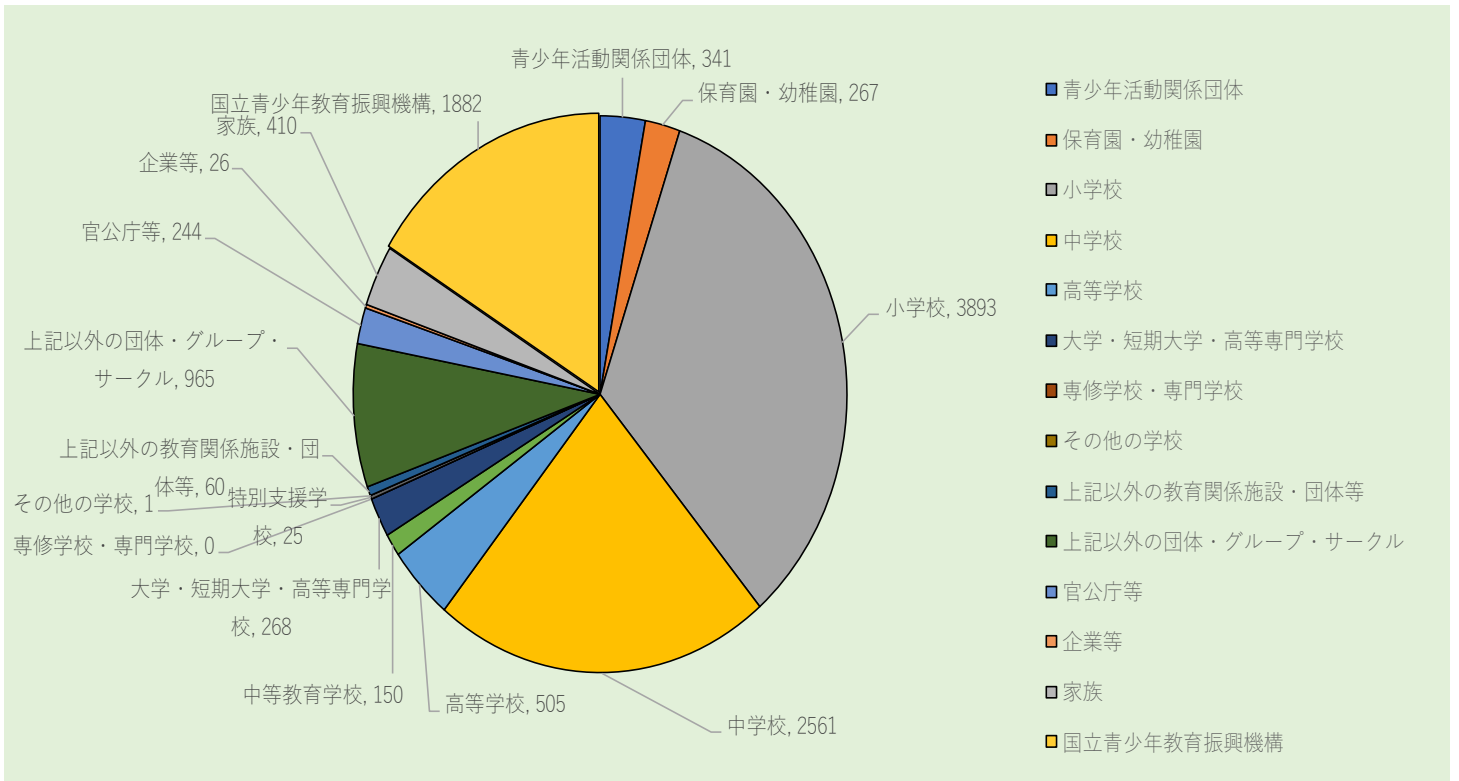
【年度別利用状況】



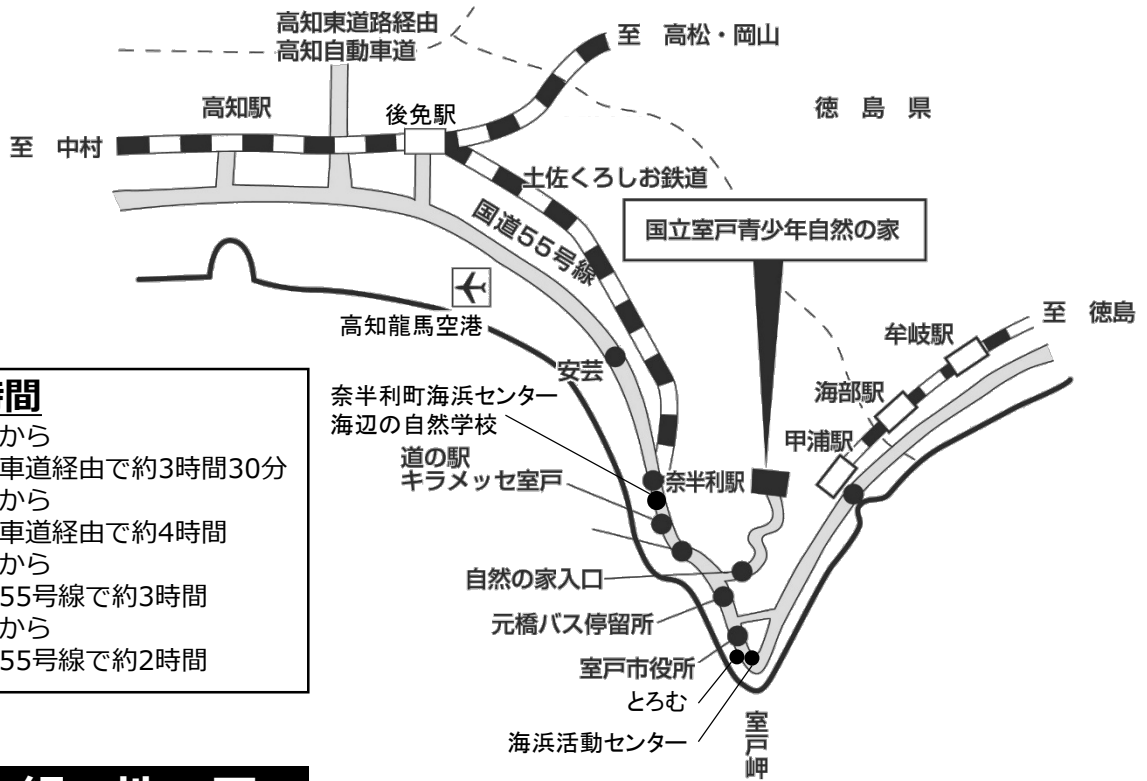
【月別稼働数】



【団体種別稼働数】



交通案内

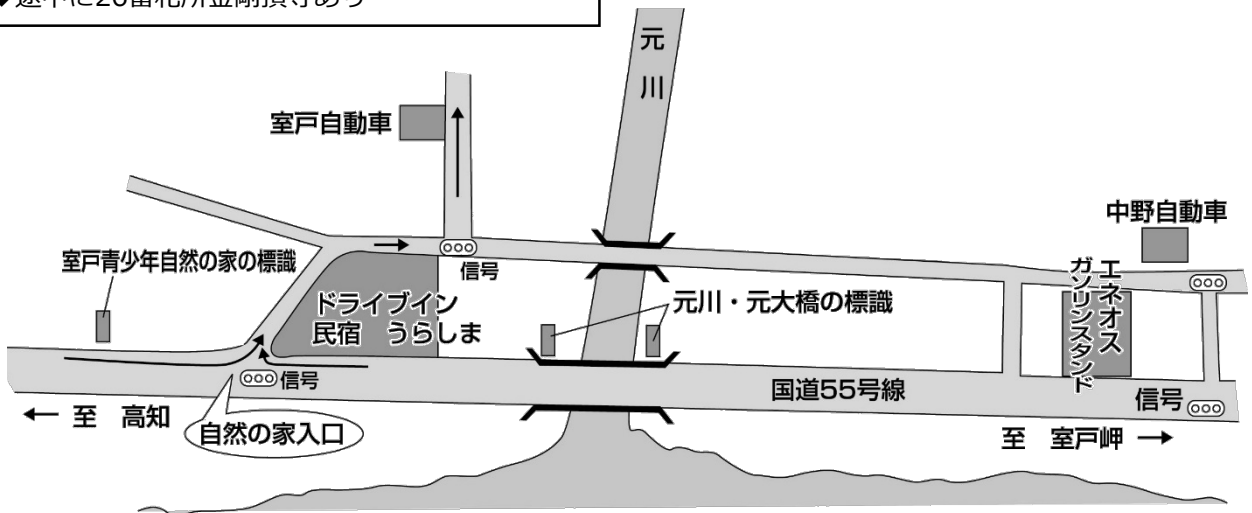


所要時間

- ◆高松市から
自動車道経由で約3時間30分
- ◆松山市から
自動車道経由で約4時間
- ◆徳島市から
国道55号線で約3時間
- ◆高知市から
国道55号線で約2時間

詳細地図

- ◆自然の家の標識から当所まで約5km、約15分
- ◆途中に26番札所金剛頂寺あり



独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立室戸青少年自然の家

〒781-7108 高知県室戸市元乙1721

Tel. 0887-23-2313 Fax. 0887-23-2484

E-mail. muroto@niye.go.jp

ホームページ. <https://muroto.niye.go.jp/>